



防災特集

命の防波堤



広報のと
第81号

平成23年11月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字出津新一字1-9-7番地1

☎：0768-62-1000(他)
能登町URL：http://www.town.noto.lg.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

第11回 お弁当 写真・文 中乃波木



中乃波木（なかの なみき）
昭和54年、東京生まれ。13歳の時に母親と共に旧柳田村へ越し、中学の二年半を過ごす。その時の感動が忘れられず、東京造形大学写真学科へ入学後から能登の写真を撮り始め、卒業後は広告制作会社の写真部を経て独立。能登を撮りだして10年目の平成19年12月に初の写真集「Noto」を出版（FOIL刊）。現在は能登で暮らしたころのエッセー「大波小波」を季刊誌「能登」で掲載するなど活動の幅を広げている。母、十七波（となみ）さんは陶芸家として能登町柳田で陶房 取巻（とうほうみんと）を構え、19年目となる。

お弁当という、思い出すのは遠足、運動会、そして学生時代です。私は能登に来る前も、来てからも、給食のある小中学校が続きました。その後お弁当となった高校時代には、親元を離れて金沢で暮らしたため、母・十七波さんのお弁当を、限られた時にしか味わうことがありませんでした。

写真は、十七波さんが父・登史紀さんに作っていたお弁当です。名付けるとすれば、すき焼き丼風弁当といった様子です。

お弁当というのは、作ってみて分かるのですが、美味しく食べてもらえるようにするには、案外工夫が必要です。温かいまま食べる料理と違って、風味や歯ごたえが変わってしまうし、野菜から水分が出てしまったり、冷めたおかずは味も薄く感じてしまいます。できたてを食べてもらえない運命にあるのがお弁当。作っても美味しかったのかどうか、「美味しかったよ」が聞けるまでは確信もってない、なんとも読めない料理なのです。

それでも、お弁当でしか出せない味わい、というのがあるのかもしれません。ぎゅっと詰まったおかずの色合いや、いつもなら隣り合わせることもない一品同士が、びったり寄り添っているお弁当箱。それを上から眺め、少しずつ中身を空にしていくのは、食卓ではできない味わい方です。タコウィンナーや卵焼きも、いつもの食卓には頻りに並べない、お弁当の常連です。

そして、お弁当に必ずついてくるのは、いつもとは違う風景です。山だったり海だったり、会社だったり畑だったり、家の中ではないどこかで食べるごはんがお弁当。旅するごはんです。どこで、どんな景色を見ながら食べようと、誰と食べようと、どんな順番で食べようと、残そうとも勝手なお弁当というのは、箱に所狭しと入っているながら、見た目によらずとも開放的なごはんなのです。



のと
ふうど

のはぎが撮る母、
となみさんの料理と家族のおはなし

お弁当の材料

お米もしくはパン
野菜
お肉またはお魚
昨夜のおかずの残り

命の防波堤

海

に囲まれた能登半島。その自然は「能登の里山里海」として世界農業遺産に登録されるほどの豊かさを持つ。

波穏やかな富山湾に面する能登町の海岸線は、約48 kmに及ぶ。私たちは、海と向き合い、海の恵みに感謝して生きてきた。しかし、自然は時として猛威を振るう。地震、津波、台風、豪雨、土砂崩れ……。さまざまな自然災害が日本列島を襲っている。

3月11日以降、日本は変わった。「自分は大丈夫」「能登に津波は来ない」——はもう通じないのだ。「想定外」を生き抜くために、できることは「備える」ことしかない。私たちは今こそ、「防災」について真剣に考えなければならない。

Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

日本海側で起きた主な地震津波 (■は石川県の被害記録があるもの)

年	震源	規模	津波	被害などの記録
701年	福井県若狭湾	M7.0	4～6m	京都府舞鶴市あたりが没する
850年	山形沖	M7.0		海水が国府から4kmに迫る
887年	新潟県南部沖	M6.5		津波が沿岸を襲い溺死者数千人
1614年	新潟県南部沖	M7.7	4～6m	震域広く津波を伴い死者多数
1741年	北海道渡島西方沖	M6.9	10m以上	渡島大島津波。佐渡に被害あり
1762年	新潟沖	M6.6		佐渡で26棟流失
1792年	北海道積丹沖	M6.9	4～6m	出漁中の船などで溺死者
1793年	津軽半島西方	M6.9	2～3m	船の被害多くあり
1799年	金沢近海	M6.4	2～3m	金石に津波、100棟流出、溺死多し
1804年	秋田県象潟	M7.1	2～3m	津波の記事あり
1833年	山形県鼠ヶ関西方沖	M7.7	4～8m	庄内沖地震。山形・新潟で被害大。能登でも400棟大破流出、死者100人
1872年	島根県浜田	M7.1	2～3m	海水が引いたが被害なし
1892年	羽咋沖	M5.8	1m以下	潮位の異常あり
1927年	丹後	M7.5		北丹後地震。小津波の記録あり
1939年	秋田県男鹿半島	M7.0	1m以下	小津波の記録あり
1940年	北海道積丹半島沖	M7.0	4～6m	津波が日本海沿岸各地で起こる
1947年	北海道留萌西方沖	M7.0	2～3m	津波あるが領域は狭い
1964年	秋田県男鹿半島沖	M6.9	1m以下	津波記録は北海道江差～直江津まで
1964年	新潟沖	M7.5	4～6m	新潟地震。日本海沿岸各地で津波発生。穴水で浸水被害発生
1964年	秋田沖	M6.3	1m以下	小津波。被害なし
1983年	秋田沖	M7.7	10m以上	日本海中部地震。沿岸各地で津波発生。能登で漁船転覆などの被害
1993年	北海道奥尻島沖	M7.8	10m以上	北海道南西沖地震。大津波と火災で死者・行方不明者230人。輪島などで津波発生

参考：北國新聞社「図解北陸の地震・津波・原発」（2011年）



1983年5月26日、日本海中部地震で発生した津波が輪島に押し寄せ、漁船を転覆させた。(北國新聞社提供)

能登は安全か

災害は必ず繰り返す。発生確率0.1%でも能登半島地震（2007年3月25日）は起きた。過去には大きな津波被害もあった。能登にも津波は来る。だからこそ、私たちは津波への備えを忘れてはいけない。

能登を襲った津波

過去、能登半島は何度も津波の被害に見舞われてきた。1833年12月7日、山形県鼠ヶ関西方沖で発生した地震で、能登半島に8メートルの津波が襲来した。能登の被害は死者100人、400棟の家屋が大破流出したという記録が残っている。

1964年の新潟地震では、穴水町に2メートルの津波が十数回押し寄せ135戸が浸水被害。引き潮時には、2メートルの深さの川底が現れたという。秋田沖を震源とする日本海中部地震（1983年）では、輪島を3メートルの津波が襲った。輪島港では漁船が転覆し3人が重軽傷。ほかの漁港でも漁船が次々と転覆し、石川県内の漁船被害は61隻にのぼった。10メートルを超える津波が北海道奥尻島に壊滅的被害を与えた北海道南西沖地震（1993年）では、地震発生約70分後に津波が能登に到達。外浦では最高3.5メートルを観測した。

これらは能登半島から遠い場所まで起こったマグニチュード※1（M）7クラスの地震。能登近海には地震の原因となる活断層※2が多く、もしM7クラスの地震が発生すれば、津波の高さは数倍になると考えられる。

能登には10分から20分という短時間で津波が来る可能性もある。津波被害は生きるか死ぬか。「揺れたら逃げる」を習慣にして、津波に備えてほしい。



金沢大学人間社会学域地域創造学類

青木賢人准教授

地震の発生を止めることはできないし、予知も不可能。しかし、人の住まい方、心構え、知恵で被害を小さくする「減災」は十分に可能です。

そのためには、津波について知ることや、いざ起きたときに何をすれば良いのか心掛けておくことが重要です。

東北地方太平洋沖地震は、地震の規模が非常に大きい「プレート境界地震」と呼ばれる地震でした。日本海側で発生する地震は「活断層地震」と呼ばれる地震で、プレート境界型と比べると規模は小さいですが、それでも津波は起こります。北海道沖や東北沖で大きな地震と津波

が発生した場合は、津波が来るまで時間的余裕があります。情報を確認して、慌てず協力して避難することができます。

問題は能登半島の近くで起きる、そこそこ大きな地震。この場合、能登には10分から20分で津波が来るため、警報が出てから避難したのでは逃げ遅れる可能性もあります。

大きく揺れたとき、どこが震源か判断することはできません。津波被害は生きるか死ぬかです。「揺れたら逃げる」しかない。日ごろから、どこを逃げるか、どうやって逃げるかを考え、津波に備えておく必要があります。

※2 活断層…岩盤が割れて動くことのできる断層のうち、過去200万年の間に動いたとみなされ将来も活動することが推定される断層を特に活断層という。地震の発生に大きく関わる。

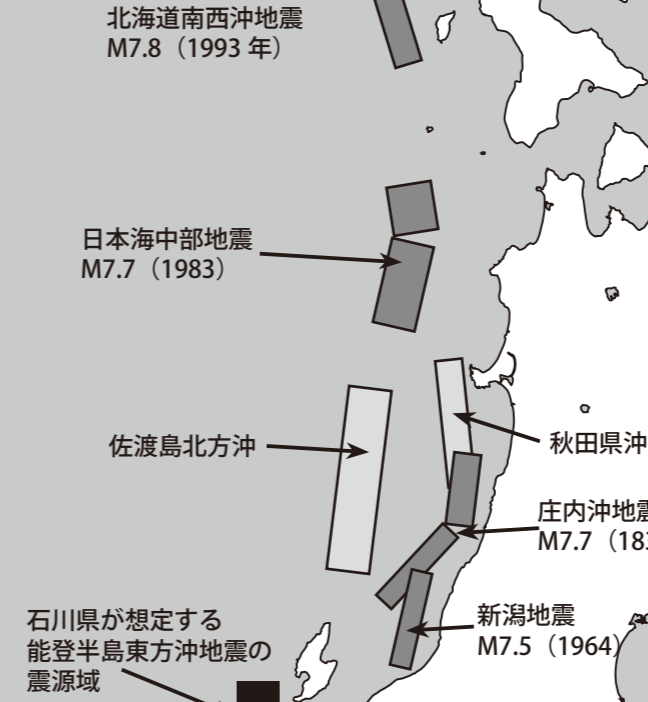
※1 マグニチュード…地震の規模を表す数値。数値が大きいほど放出したエネルギーが大きく、1増えるとエネルギーは32倍、2増えると約1000倍となる。東北地方太平洋沖地震は日本の観測史上最大のM9.0。

津波を知る

平成7年度から石川県が想定してきた「能登半島東方沖地震」はマグニチュード7.8。能登の近くで起きる大きな地震で、津波の発生も想定されている。津波に備えるために、まずは津波について知ることが大切だ。

日本海で発生した地震(M7.5以上)と今後推定される震源域

□ は過去の震源モデルがない
■ 想定震源域



※参考資料：地震調査研究推進本部「日本海東縁部の地震活動の長期評価」（2003年）

津波の特徴は

海底で地震が起きると地面が持ち上がったたり下がったりする。この地形の変化が海水に伝わり、大きな流れとなって四方に広がる波が津波。強風によってできる高波とは性質が全く違う。（左図参照）

猛スピードで襲う

津波は海が深いほど速く伝わる性質を持つ。水深5千メートルで時速800キロ（ジェット機並）、5百メートルで時速250キロ（新幹線並）、海岸付近では時速36キロ（オリンピック短距離選手並）。津波が見えてから避難しても間に合わない。浅くなるにつれて後ろの波が前の波に追いつくため、海岸付近

近では波が高くなる。

繰り返し襲来する

津波は何度も繰り返し襲来する。第1波よりもその後の波が高くなる場合もある。

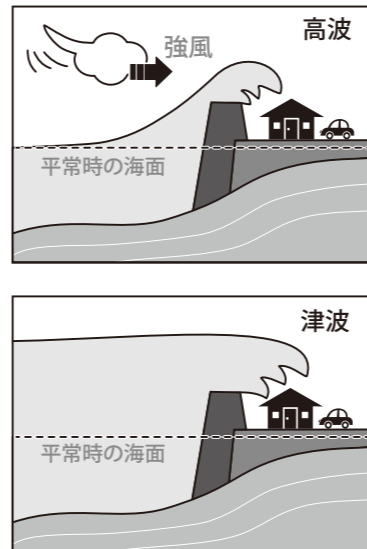
潮が引くとは限らない

最初から押し波で来る場合もある。「津波の前に必ず潮が引く」というのは間違い。

津波警報は3分後

気象庁は、地震発生から約3分後に津波警報・注意報を発表する。津波の予想が50センチ程度で津波注意報、1メートル以上で津波警報、3メートル以上で大津波警報となる。解除されるまでは、海岸に近づかないようにする。

高波と津波の違い



津波は海底から海面までの全ての水が巨大なかたまりになって沿岸に押し寄せる。そのエネルギーはすさまじく、50センチの津波であっても人が押し倒され、命の危険がある。

小木港にはわずか9分で津波が到達 宇出津港15分、松波へは18分と予測

佐渡と能登の間

石川県が想定する「能登半島東方沖地震」は、佐渡島と能登半島の間を震源とするマグニチュード7.8の地震。右図のように、北海道沖から東北沖では、これまで大きな地震が何度も発生してきた。佐渡と能登の間には、過去に地震を起こした活断層が確認されている。能登半島東方沖で想定される地震が発生した場合、県の「津波浸水想定区域図」によると、最も速く津波が到達するのは小

木港で9分。小木沖は水深が深いために、津波は速くなると予測されている。

想定外もありうる

小木港への第1波は推定高さ3.8メートルだが、津波の高さや到達時間は地震の規模や震源で大きく変わる。第1波が一番高いとも限らない。想定以上の津波が来ることもありうるため、浸水想定区域外でも決して安心することはできない。マグニチュード7.8は、

1993年の北海道南西沖地震

と同規模の大地震。至近距離で発生する大津波など、能登半島東方沖地震との共通点が多い。

奥尻島の教訓

北海道南西沖地震では、地震発生後4〜5分で奥尻島に数メートルから10数メートルの津波が押し寄せた。死者・行方不明者230人。このうち、津波の犠牲者は198人を数える。助かった人は、地震直後に着の身着のまま高台へ避難した人。車で逃げようとした人の多くが、車ごと津波にさらわれた。津波避難は、徒歩で高台へ向かうことが原則。自宅から避難所までの距離や時間を把握しておくことが重要だ。

東日本大震災を受けて「津波浸水想定区域図」を見直している。防災に近道はない。自主防災組織と防災士を育成し、「地域防災力」を強化していきたい。



石川県危機管理監室 危機対策課

宮下謙二課参事

平成7年の阪神淡路大震災後、石川県は「地震被害想定調査」を実施し、県内の活断層で今後起こりうる地震の被害を推定しました。

津波に関しては、当時の専門家に検証してもらった結果、佐渡と能登の間の能登半島東方沖で地震が起こると大きな津波被害が出るという想定を行い「津波浸水想定区域図」を作成しました。

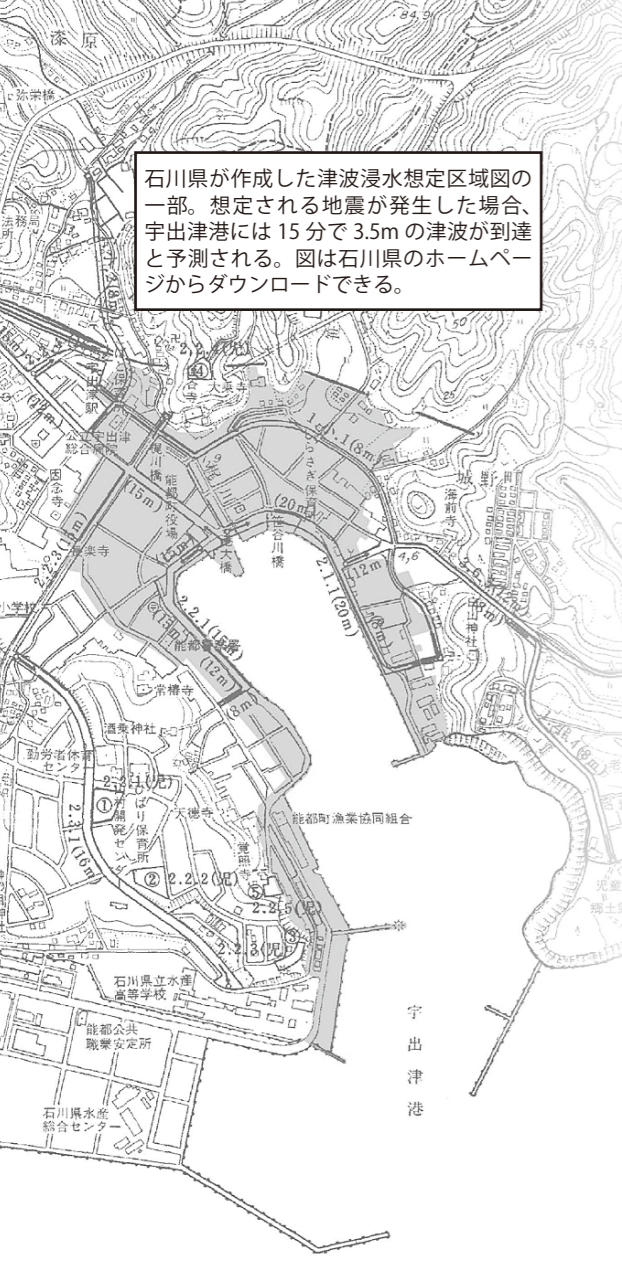
現在、東日本大震災を踏まえた見直しを行っています。新しい区域図は、縮尺が大きくなり、地形や構造物の影響、時間の経過なども盛り込んだものになります。本年度中に完成予定で、この区域図

をベースに各市町がハザードマップを作成ことになります。マップが各家庭に配布された時には、地域で避難路の安全を確認したり、避難訓練をしてもらうきっかけにしてほしいと思います。

ただ、浸水想定はあくまで想定シミュレーションですので、想定外もありうるということを忘れないでください。

県は、能登半島地震の教訓から、自主防災組織の「組織づくり」と防災士※の「人づくり」による「地域防災力」の強化を図っています。防災に近道はありません。今後も市町と連携・協力しながら、しっかりと取り組んでいきます。

石川県が作成した津波浸水想定区域図の一部。想定される地震が発生した場合、宇出津港には15分で3.5mの津波が到達と予測される。図は石川県のホームページからダウンロードできる。



※防災士…減災と防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な意識・知識・技能を有する人として、NPO 法人日本防災士機構が認証する。

東日本大震災 に学ぶ

平成23年3月11日、日本観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震が発生した。最大震度7という激しい揺れと大津波を起こし、原発事故まで招いた東日本大震災。

この光景は決して人ごとではない。私たちは、この災害から学ばなければならない。もう二度と、津波で命が失われないように。



東北地方太平洋沖地震の概要

【発生日時】 平成23年3月11日（金）午後2時46分

【震源】 三陸沖（牡鹿半島の東南東130km付近）

【震源の深さ】 24km

【地震の規模】 マグニチュード（M）9.0

【最大震度】 震度7 宮城県北部

【津波】 3月11日午後2時49分 大津波警報発表

【被害状況等】

・人的被害 死者15,824人 行方不明者3,824人
負傷者5,942人

・建築物被害 全壊118,660戸 半壊182,415戸
一部破損603,193戸

※内閣府緊急災害対策本部発表資料（平成23年10月18日）より



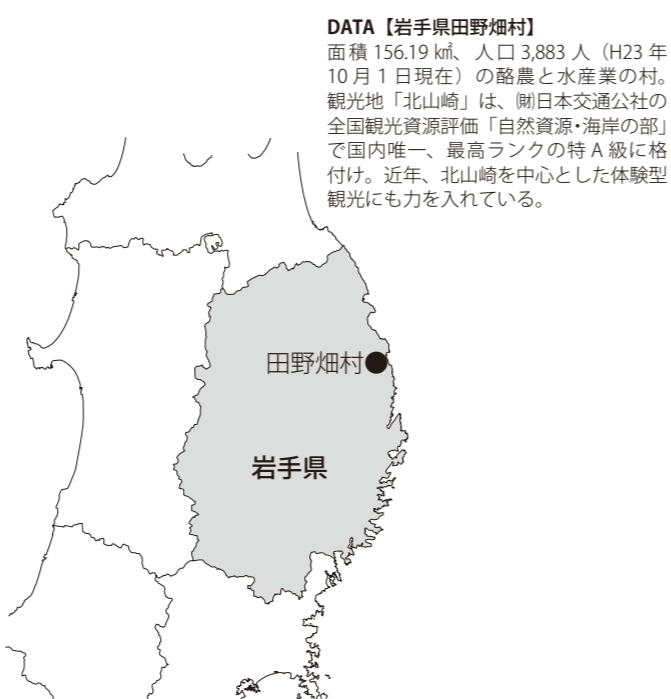
足元数十秒まで津波が押し寄せた

早野一弘さん(64)

その時

津波襲来時、三陸沿岸で何が起きたのか。
生き残った人は、どういう行動を取ったのか。
被災者の生の声は、私たちに何を伝えるのか。
岩手県田野畑村で被災した二人の体験談を紹介する。

取材協力 田野畑村政策推進課



DATA【岩手県田野畑村】
面積 156.19 km²、人口 3,883 人 (H23 年 10 月 1 日現在) の酪農と水産業の村。
観光地「北山崎」は、㈱日本交通公社の
全国観光資源評価「自然資源・海岸の部」
で国内唯一、最高ランクの特A級に格
付け。近年、北山崎を中心とした体験型
観光にも力を入れている。

津波にのまれ、九死に一生を得た

工藤房子さん(70)



い

づがは来っと思っ
てだっども、ま
さが、ここまで…」

3月11日は浜のなぎも良く、午前中にシウリ採り。それを誰に配つかなと考えているときに大っきな地震が来た。何かの下に隠れるよりも、外に出た方が安全だと思って飛び出した。今まで経験したことのない大っきくて長い地震。直感的に「来るー」と確信した。

「逃げるー、もっと上だー」
叫びながら逃げた

揺れが収まり、近所の老人宅や平井賀郵便局を確認したあと、駐在所付近で海を見た。

その時、普段の干潮よりも少し多く潮が引いていった。それから少しづつ満潮のようになり、鳴門海峡のような渦を巻いていた。海面がだんだん高くなり、岸壁のクレーンを押し倒し、船が沈んだりひっくり返ったりするのが見えた。

その波が引かないうちに「ドーン」と第2波が来た。真っ白く上がるしぶきの下から、も

保

健センターで食改善
グループ役員会の最
中に地震が来まし
た。よく覚えていませんが、と
にかく大きい揺れで、ストーブ
を消して慌てて外に逃げたと思
います。

地鳴りのようなものが聞こえ、建物は揺れるというよりも横に動いている感じ。今まで感じたことのない地震で、「これはただ事ではない。津波が来る」と思いました。

あんなに大きい津波だとは
想像もしなかった

揺れが少し収まったときに、足が痛くて歩くのが大変な無二の友人が心配になり、車で島越に向かいました。島越に着くと、友人は避難した後でした。安心して、自分も自宅に車を止めて、自宅裏の避難場所に向かいました。津波が来るとは思ったんだけど、まさかあんなに大きなものだとは想像もしていませんでした。

第1波か2波かは分からないけど、すごい勢いで水が増えて

のすごい勢いで津波が押し寄せた。自分がいた場所よりも高く感じ、ここじゃ駄目だと思い、「逃げるー、逃げるー」「駄目だ、もっと上だ、上がれー、上がれー」と叫びながら逃げた。津波の様子をうまく表現することはできないが、例えるなら洪水の濁流が下から上がってくるような感じで、ものすごいスピードだった。

「てんでんこ」を実感した

逃げる途中、家に居たはずの妻や娘、孫のことが脳裏をよぎったが見ている時間などなく、「見でいれねえぞー」と叫びながら坂を駆け上がった。幸い家族も、俺の叫び声を聞いて先に避難していた。

先人たちが伝えてきた「津波でんでんこ※」は、このことだと実感した。

足元から数十センチのところまで津波が押し寄せたが、何とか助かった。その後も津波が何度も押し寄せたが、第2波が一番大っきかったと思う。「まさかー」と、ほとんどの

きて、「ダーン」とか「ドーン」とか、とにかく大砲のような音が聞こえました。堤防や水門、黎明館(漁村センター)が壊れる音だったんでしょね。そのうち誰かの「上がれー、まっとうさ上がれー」という叫び声が聞こえ、自分ももっと高い所に逃げようと思いました。

その時、自分がいる避難場所に向かう道を二人が上がってきました。一人は誰だか覚えていませんが、もう一人はつえをついた近所のおばあさん。私はおばあさんと手をつないで必死に逃げました。

間に合いませんでしたー。二人とも津波にのまれ、水の中がれきと一緒にぐるぐると回りました。いつ手を離れたのかは覚えていません。水を飲んだら駄目だと思って必死でした。でも、だんだん息が苦しくなり、「あーこれで終わりだな」と思ったときに水がひき、息をすることができました。

それと同時に、今度は大量のがれきが体の上のしかかってきました。その後、何とかがれきの中から救出してもらい、ア



防波堤を破壊した大津波は、住宅や商店など、街並全てを奪い去っていった

人が話す。でも「まさかと思う油断」はもうやめたいし、皆さんにもやめてほしい。とにかく地震があったら、1分でも1秒でも早く、1メートルでも1センチでも高いところに逃げる。これが大事だと痛感させられた。

これからの俺にできることは、今回の教訓をうるさいって言われるぐらい教えて行くこと。この経験を風化させないようには伝えることが一番大切だと思う。机の上で考えたことや学者の言うことよりも、経験した人じゃないと分からないことがいっぱいあるはずだから。

大切なのは「伝えていくこと」。先人の教えのおかげで、自分も今こうやって生きているんだから。

ズビイホールに避難することができました。皆さんの一丸となった支援に本当に感謝しています。

これからも海と生きて行く

教訓にするには、あまりにも大きすぎる犠牲。それでも生きていかなければならないし、海を捨てるわけにもいきません。

私は漁業をしていないけれど、海で育ち、海と暮らしてきました。これからも海と向き合っていかなければならないと思います。今は、何事もなかったかのように寄せては返している静かな海。この海が二度と牙をむく日が来ないことを願いながら、私の経験を後世に伝えていきたいです。



島越地区に襲いかかる大津波。鉄道線路や駅舎を破壊し、集落を壊滅させた

※津波でんでんこ…三陸沿岸に古くから伝わる言葉。一家共倒れを防ぐために、津波が来たら肉親に構わず、各自でんでんばらばらに一人で高台へと逃げろという意味。

釜石の奇跡

震災当日、学校管理下にあった2921人全員の児童・生徒が生き残った岩手県釜石市。それは、8年前から実践してきた「防災教育」の成果だった。釜石市の事例から何を学ぶべきか。市の防災教育に携わってきた群馬大学大学院の片田敏孝教授に話を聞いた。

津波に備えることは、海の近くで暮らす「お作法」

災害に対する一番の危険は、気のゆるみの中にあります。今の釜石市民であれば、地震が発生すれば津波を想定して逃げてください。明治・昭和三陸津波のときも同じだったはずですが、しかし、時間の経過とともに災害の記憶は風化し、気がゆるんだころに再び災害が発生してしまふ。今回の災害は、人間のもろさがそのまま被害に直結したように思います。

津波を恐れながら日々の生活を送る必要はありません。海の恵みをたくさんもらおうということは、人間が自然と共に生きて

いるということです。それは、時に起こる海の大きな振る舞いと向き合うべき宿命であり、その時にちゃんとした対応をすることが海の近くで暮らす「お作法」なのです。

私が子どもたちに伝えたのは津波の知識や恐怖ではなく、自分の命を守ることに主体的になること。できうる限りの最善を尽くすという姿勢です。防災教育においては、この「姿勢の教育」こそが最も大切なのです。

ハザードマップの津波浸水想定区域外にあった鶴住居小学校には、屋上を超えるほどの津波が襲いましたが、子どもたちは状況を判断し、より安全だと思っ場所に避難しました。子どもた



校舎3階に軽自動車突き刺さった鶴住居小学校の様子(片田氏提供)



ちの最善を尽くした行動が、結果として多くの命を救い「釜石の奇跡」と呼ばれるようになったのです。

自分の命を守ることに主体的な姿勢を

能登半島の地形は、決して安心できる地形ではありません。しかも短い時間で津波が来ることも分かっています。今、この状態で津波が来たらどういう対応ができるのか、自分たちの問題として考えるべきです。

これまでの防災に対する考え方を要する必要もあります。大災害が起きた瞬間、行政ができることは限られるからです。

東北の犠牲を無駄にしない

人間は嫌なことを忘れるようになっていきます。特に災害の記憶は風化しやすい。しかし、それではまた災害に対し無防備になってしまいます。無防備な状態で『その時』を迎えるのはもうやめましょう。どの地域も東北と同じ思いをしてほしくない。東北の経験を、教える無駄にしてほしくないのです。

日ごろからしっかりと備えておくことができれば、あれだけの巨大津波でも犠牲者ゼロが不可能ではないことを、釜石の子どもたちが教えてくれました。幸い、まだ能登に津波は来ていません。やるなら今です。今すぐやるしかありません。

片田教授が釜石市の児童・生徒に伝えてきた【避難三原則】

①想定にとらわれるな

ハザードマップ以上の災害が起こる可能性があると思え。
※浸水想定区域外であったにもかかわらず、それにとらわれることなく避難を行った。

②最善を尽くせ

「ここまでくればもう大丈夫だろう」ではなく、その時できる最善の対応行動を取れ。
※状況から判断し、あらかじめ決めておいた避難所よりもさらに高台を目指した。

③率先避難者たれ

避難する姿を見てほかの人も避難するようになり、結果的に多くの人を救う。
※避難する中学生を見て、小学生は校外へ避難した。

※は震災時に釜石市の児童・生徒がとった行動

防災は行政だけがやるものではなく、住民の対応力の問題でもあります。津波が来たら行政任せでは絶対間に合わない。自分で判断して逃げるしかないのです。

だからこそ最善を尽くすという『姿勢』が大切です。自分の命を自分で守るという姿勢。地域の安全を自分たちでつくっていくという姿勢です。

当事者意識を持って考えれ



群馬大学広域首都圏防災研究センター長
群馬大学大学院工学研究科教授
釜石市防災・危機管理アドバイザー

片田敏孝さん

釜石東中学校と鶴住居小学校の津波襲来時の対応

地震発生時、釜石東中学校の副校長がハンドマイクで生徒に校庭への避難を呼びかけようとしたがそれは不要だった。

生徒は、地震の揺れから「ただ事」ではないことを察知。各自が揺れから身を守る最善の対応を行い、揺れが収まった後に、自らの判断で校庭に集合し始めた。そして、運動部員を先頭に全生徒があらかじめ決めておいた避難場所「ございしよの里」まで走り始めた。

一方、鶴住居小学校では、津波の襲来に備えて全校児童を校舎の3階に移動させていた。しかし、中学生が避難していく様子を見て、すぐに校外への避難を判断。児童たちは中学生のあとを追って走り始めた。釜石東中学校の生徒は、鶴住居小学校の児童にとって率先避難者となった。

ございしよの里まで走りきった小中学生は、その場で点呼を取り、避難は無事完了したかに見えた。しかし、裏山の崖が崩れていることを発見した生徒は「ここも危険だからもっと高いところに避難しよう」と先生に進言。さらに高台の介護福祉施設までもう一度走り出した。

中学生は訓練どおりに小学生の手を引き、避難を支援した。道中、合流した鶴住居保育園の園児を抱え、台車を押し、「助ける人」としての役割を果たしながら、必死に避難した。

先頭の生徒が介護福祉施設に到着し点呼を取り始めたとき、「津波が堤防を越えた!」という叫び声が聞こえた。

「逃げろー!」襲い来る津波の恐怖に、子どもたちはさらに高台の石材店まで駆け上がった。避難の最後尾は介護福祉施設に着く前に津波に追いつかれてしまう。とっさの判断で山を駆け上がり、間一髪のところで無事合流することができた。

こうして、津波襲来時に学校管理下にあった鶴住居小学校、釜石東中学校の児童・生徒約570人は、無事津波から生き残ることができた。
(広域首都圏防災研究センターホームページより抜粋)

平成 23 年度 小本中学校の 防災教育

- 4月20日 ■講演会「能登半島地震を経験して」星野正光さん（輪島市門前町）
- 27日 ■講演会「震災直後の現場で見たもの」川本京介さん（能登消防署）
- 5月24日 ■ハザードマップ作り
- 31日 ■第1回避難訓練（中学生対象）
■避難経路確認
- 6月7日 ■避難経路危険箇所確認
- 14日 } ■避難経路案内図作成
21日 } ■壁新聞作成
24日 }
- 27日 ■国語科「小学生に伝えよう」
■講演会「小木地区の災害」岩城康徳さん（小木）
- 7月1日 } ■避難経路DVD制作
5日 } リポーターが避難
12日 } 経路を説明するDVDを制作
- 8日 ■国語科「津波についての発表会」
- 13日 ■地域聞き取り調査
- 20日 ■小・中・高・保護者合同避難訓練
- 8月18日 } ■避難所生活体験活動
19日 } テントの設営や野外炊飯の方法を学ぶ
- 9月30日 ■PTA防災・避難所訓練
- 10月6日 ■津波について考える会
「津波について考えてみんけえ」
■家庭版ハザードマップ完成（小木地区全世帯に配布予定）
- 10月16日 ■小木地区津波避難訓練
- 11月12日 ■小木中学校文化祭・防災劇発表
- 1月15日 ■子どもドリームフェスティバルで発表（県立音楽堂）

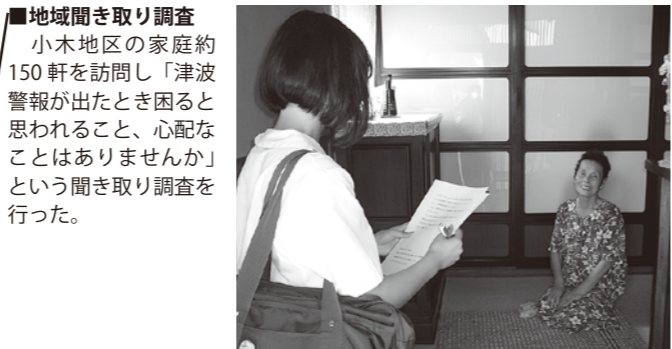
■ハザードマップ作り
地図を貼り合わせて10m、20m、30mの等高線や避難時間などを入れた。小木地区の商店30店舗以上に掲示されている。



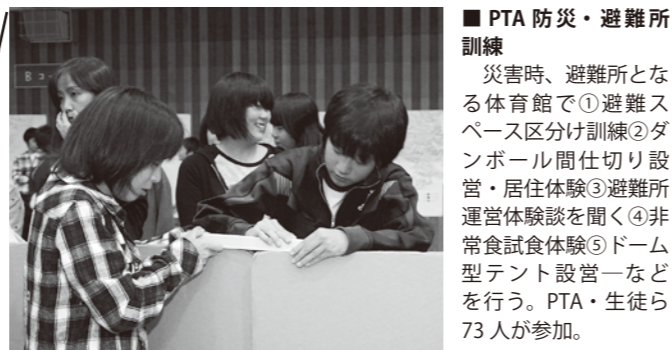
■壁新聞作成
3月12日から6月11日まで3カ月間の新聞から「人の優しさ、強さ」をテーマに被災から復興に向けての新聞記事を集めて壁新聞にした。



■地域聞き取り調査
小木地区の家庭約150軒を訪問し「津波警報が出たとき困ると思われること、心配なことはありませんか」という聞き取り調査を行った。



■PTA 防災・避難所訓練
災害時、避難所となる体育館で①避難スペース区分け訓練②ダンボール間仕切り設営・居住体験③避難所運営体験談を聞く④非常食試食体験⑤ドーム型テント設営などを行う。PTA・生徒ら73人が参加。



■津波について考えてみんけえ
これまでの取り組みを紹介し、避難経路図やDVDを配布した。後半は金沢大学の青木賢人准教授による津波講演。中学生の思いに地域が応えてほしいと訴えた。地域住民ら約140人が参加。



10月6日、小木公民館で開催された「津波について考えてみんけえ」は、地域住民ら約140人が詰めかけ、津波への関心の高さを示していた。津波防災教育の取り組み発表後、配布された避難経路図や避難DVDは、多くの住民が持ち帰ってくれた。

防災を日常に

本年度から防災教育に取り組む小本中学校。防災の知識を身につけた生徒は、やがて大人になり、親になる。学校、家庭、地域が一つになり防災を日常生活の一部として根付かせる大きな一歩が防災教育だ。

できることからやる

「東北に学ばせてもらっている。東日本大震災の教訓を絶対に無駄にしたい。」

4月から小本中学校に赴任した小本正校長は、防災教育に取り組むきっかけを話す。

「小木は三陸沿岸と同じリアス式海岸の港町。津波を自分たちのこととして考えたとき、学校、生徒、保護者として、できることからやろうと訴えた」

主に取り組んだのは3年生28人。▽各教科▽総合的な学習▽道徳▽PTA活動などを通じて、防災について学び、地域を調べ、訓練を重ねてきた。

「津波の速度や到達時間は数

学、地図を調べることは地理の勉強になる。防災教育は普段の教育の中で十分に取入れられるし、勉強を身近に感じることのできる。先生方にとっても、アイデアを出して実践していくことで指導力の向上につながる」と小本校長は力を込める。

避難路の危険箇所を調べ、聞き取り調査などを実施する中で、生徒たちは地域の一員であることを自覚し、地域に貢献するやりがいを感じる。

「自分たちの地域を守る。小木から一人も津波の犠牲者を出したくない」と口をそろえる生徒たち。防災教育を通して、古里への愛情も育まれている。



小木中学校
小川 正 校長

防災教育を通して命の大切さを学ばせ、今を真剣に生きる姿勢と将来を生き抜く力を身につけさせたい。

4月に赴任してきたとき、生徒はすでに大震災被災者への義援金を集めていました。この熱き心と行動力を持った生徒、そして九十九湾を前に、何としても防災教育を始めねばと決意しました。

誰かがやってくれるのを待つのではなく、自分たちにできることは何かを考え、できることからまずやってみよう、スピード感を持って取り組んできました。生徒も先生も、小木からは犠牲者を一

人も出たくないとの強い思いで取り組んでいます。生徒の取り組みをきっかけに、地域の皆さんが防災について考え、避難訓練など実際に動いておられる姿が私たちの大きな励みとなっています。

生徒には、自らの命を自らで守り、共に助け合うという意識を持つことで、命の大切さを学び、古里小木を愛してほしい。そして何より、今を真剣に生きる姿勢と将来を生き抜く力を身につけてもらいたいと願っています。

小木中学校 3年生担任
廣澤孝俊 先生

高まった防災意識を継続していくため、防災を「地域の文化」、「学校の伝統」にしていきたい。

小木に津波が来たらどうなるのか「地域の人を守りたい」。生徒たちのつぶやきが、防災教育の方向性を示してくれました。

津波避難のためにハザードマップを作る。実際にどの道を通るのか、安全を確認して避難経路図を作る。もっと分かりやすく伝えるためにDVDを作る。生徒たちは、「地域の人たちを守るために当たり前のことをしている」という意識で取り組んでいました。

9月の県民津波フォーラムで片田先生の話の伺い、自分たちのやっていることは間違いではないと確信しました。

避難訓練に参加する地域の人たちの表情を見ると、防災意識が高まっていることを感じ、手応えも感じています。

高まった防災の意識を継続していくためには、防災を「地域の文化」「学校の伝統」にしなければなりません。その一つとして、新たな小木中の伝統にしようとして「防災劇」にも取り組んでいます。



小木中学校 PTA 会長
坂下卓志 さん

やるとやらないでは結果が違う。子どもたちの命を守るために、防災教育・防災訓練をやるしかない。

最初は人ごとのように感じていた子どもたちも、訓練や発表を重ねる中で、津波が来たら人の命が失われること、自分たちの活動が命を守ることにつながるということを肌で感じ、真剣に取り組むようになりました。

避難訓練などを通じて「体験しないとできない」ことを痛感しました。一度も中学校まで上がったことのない人は、実際に避難できないかもしれない。一回でも体験していればパニックになりませ

ん。PTAとしても、親、そして地域を巻き込むために、年中行事に防災訓練を組み込むなど、防災の取り組みを続けていく仕組みづくりを考えています。そして、今後も小木中学校の取り組みを発信し続けることで、ほかの地域や学校の参考になればと思っています。

防災教育に関しては、釜石の子どもたちが答えを出しました。やるとやらないでは結果が大きく違う。子どもたちの命を守るために、やるしかないと思います。

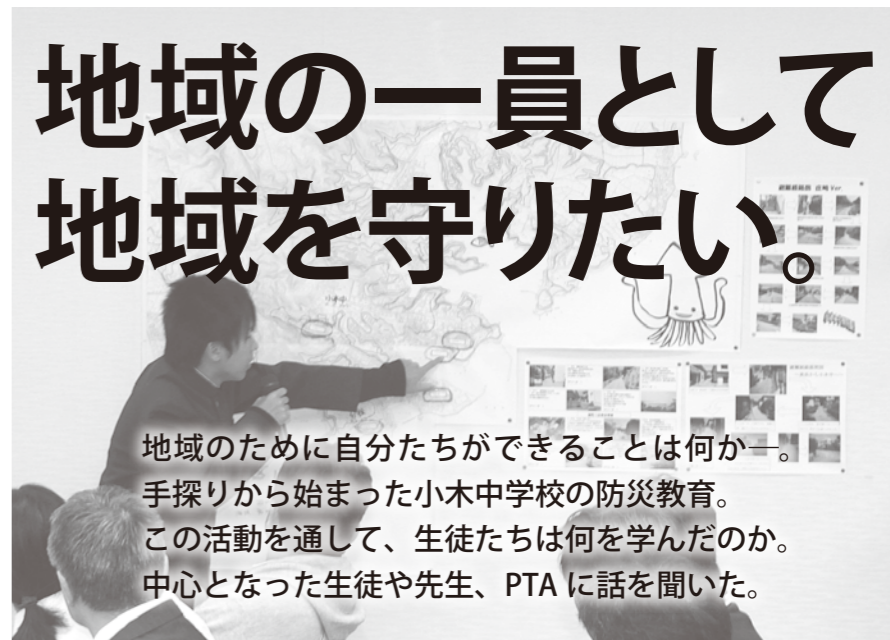
①町内名②印象に残っている活動（その理由）



浦下宗輝さん
(3年)
①庄崎
②地域の人たちの前で発表したこと（思っていた以上に参加してくれた）

勉強してきたことを生かしたい。

4月から津波の防災の勉強をしてきて、今まで自分が想像していたよりも、津波の被害はものすごいものだと分かりました。そして、津波の怖さをすごく感じました。もしも津波が起こったら、避難の仕方など今まで勉強したことを少しでも発揮できればいいなと思っています。



地域の一員として 地域を守りたい。

地域のために自分たちができることは何か。手探りから始まった小木中学校の防災教育。この活動を通して、生徒たちは何を学んだのか。中心となった生徒や先生、PTAに話を聞いた。



岡田大地さん
(3年)
①明野
②避難所体験（避難所生活が大変だということが分かった）

地域の人たちに伝わってほしい。

この防災教育を通して、津波の恐ろしさが分かりました。劇をやって、いろいろな事も学びました。

お年寄りや小学生が、急な坂をのぼるのは大変なので、助け合っていけないとダメです。僕たちの劇や発表が、ほかの中学校や地域の人たちに伝わってほしいと思います。



角口琳久さん
(3年)
①明野
②避難訓練（役に立つから）

避難訓練をやって良かった。

何度も避難訓練に参加して、本当に大地震や大津波が起きて避難することになったら、もっと人が多くなるし混乱すると思いました。避難訓練をすることで、参加してくれる地域の人たちの意識も高まったと思うので、本当に良かったです。でも、役に立つようなことは起こってほしくないです。



高野寛大さん
(3年)
①高瀬
②避難所体験（ダンボールで部屋を作るのが大変だった）

今できることに取り組みたい。

津波が本当に来たら、お年寄りや体の不自由な方、幼い子どもたちを優先して避難させようと思いました。

大変な苦勞をしている被災地の方を思い、何もできない自分に腹が立ちましたが、この取り組みで少しは役に立てたと思っています。これからも今できることに取り組んでいきたいです。



松谷智代さん
(3年)
①新町
②避難訓練（地域の人も参加してくれて良かったと思う）

小木の多くの人に知ってほしい。

小木にもし津波が来たらどうなるのか考えるようになりました。ハザードマップを作り、地域の人たちと避難訓練をしたことはとても良い経験になったと思います。だから、中学生の取り組みを小木の多くの人たちに知ってもらい、津波が来ても一人も犠牲者を出さない町にしたいと思いました。



坂口博紀さん
(3年)
①庄崎
②DVD作成（暑い中リポートを作ったから）

犠牲者を小木から出たくない。

東日本大震災のような、多くの犠牲者をこの小木から出してはいけないと思いながら、この活動をしてきました。地域への発表ではたくさんの人たちが来てくれて、僕たちの活動を知ってもらえてうれしかったし、何より小木の防災意識が強く根付いていることを感じました。



藪下 彩さん
(3年)
①高瀬
②津波について考えてみんげえ（予想以上に人が集まっていて緊張した）

この取り組みを続けてほしい。

東日本大震災が起こるまで、あまりこういったことを考えたことがありませんでした。大きな災害が日本で起こって、いろいろなことを考えて取り組んできました。学校のみならず地域の皆さんもちょっと考えが変わったと思います。後輩には、この取り組みをこれからも続けてほしいと思います。

地域を守るのは、地域

自分たちの地域を自分たちで守るために結成する「自主防災組織（自主防）」は、地域の防災力向上や災害時の対応に大きな役割を果たす。能登町は今後、自主防の設立を推進していく。その参考とするため、今年立ち上がった珠洲市三崎町の自主防を取材。設立の経緯や活動などを聞いた。



珠洲市三崎町
下出自主防災組織・防災士
奥濱勇信さん(61)

俺らを助けてくれ

「区長の理解と地区住民の協力がなければ自主防は絶対にできない」と話す奥濱さん。昨年防災士の資格を取得し、三崎町で二人目の防災士となった。

「何かしなければと思っても、二人では三崎全体をまかなえない。悩んで区長に相談したら『まずは自分の集落からやればどうや。責任は俺が取るので』と自主防設立のきっかけを語る。

3月6日に寺家下出区の常会で説明し承諾を受けた。「年配の人には『そこまでやらなくても』と言う人もいた。でも3月11日のあとは、『おまえの言うことは正しかった。年取って協力できんだけど、指示に従うから俺らを助けてくれ』と

言われた」と振り返る。

6月、区長を本部長とする『下出自主防災組織』を立ち上げた。メンバーは地区住民105人のうち30人。38世帯を4班に分けて、役割分担を決めた。

訓練で見えてくる課題

7月17日には、珠洲市の津波警報訓練に合わせて初めての避難訓練を実施した。

「荒れて歩みにくい避難路、避難場所の選定、歩行困難者はどうするかなど、実際にやってみて、課題がたぐさん出てきた。

この地域の合言葉は『何かあったら集会所』。市が指定する神社ではなく、電気とガスが確保できる集会所に避難することを決めた。断水した場合の水は、全世帯を調べて使える井戸を二つ確保した。市に非常食を

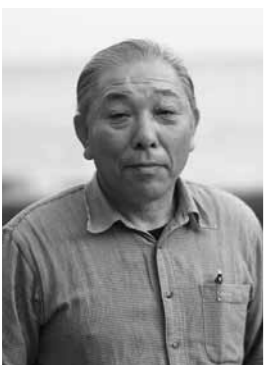
備蓄したいとお願いもしている。集会所まで来れば、数日は生き延びることができる」

きっかけを防災士が作る

「自主防のメンバーで何度も話し合いながら、災害時の約束事をいろいろ決めていく。大切なことは『これでもいいのか?』と疑問に思うこと。行政に頼り切っていたらアイデアは出ない。自分たちでやるから、さまざまな状況を想定して次の課題が見えてくる」と自主防の必要性を語る。しかし、集落単位の自主防は市全体でもまだ寺家下出区のみだという。

「誰かがやらないと自主防はできないし、命を助けられない。やるのは防災士しかいない」と訴える奥濱さん。これからも地域を守るために走り続ける。

【Interview】地域の防災リーダーとなる防災士



新保区・防災士
市濱 等さん(63)

防災士の知識を、地域や町のために役立てたい。

東日本大震災の現状を視察して、「何か行動を起こさなければ」と考えていたときに防災士を養成していることを知り、町や県に問い合わせ7月に二日間の講習会に参加しました。講習会は幅広い知識が要求され、内容の濃い教育課程でした。

自然災害を防ぐことは不可能だと思います。発生したときに被害を減らせるか、「減災」に重きを置き、地域住民の「自助・互助・協働」を補助し、共同で地域ぐるみの防災をリードするのが防災士の役割だと思います。学んだ知識を、地域や町のために役立てたいと思っています。まずは公民館下の地域の方々に説明をして、自主防災組織の設立を目指し、町行政でも防災士の養成に尽力したいと考えています。



重年区・防災士
中山幸永さん(48)

早急に自主防災組織を立ち上げ、地域の防災意識を高めたい。

昨年7月、消防団副団長の薦めで防災士講習を受講し、今年は骨折ややけどなどの処置ができる上級救命講習を受けました。息子も防災士となり、重年区の防災士は二人です。できるだけ早い時期に区長と相談し、自主防災組織を立ち上げたいと考えています。

自主防が組織されれば、地区住民に初期消火班や救護班など役割が分担されます。役割を持つことで、防災への意識も変わるでしょう。地域全体の防災意識の面からも、自主防は必要だと言えます。

私は消防団員ですので、万が一のときには消防業務に従事します。防災士がいなくても自主防がしっかりと機能するよう訓練を重ね、災害時のルールを決めていきたいと思っています。

大規模災害での被害を最小限に食い止めるためには、日ごろから地域で防災活動を展開する「自主防災組織」が不可欠。町は組織化や資機材の購入を支援していく。



能登町総務課
下野信行課長

「東日本大震災」は、日本全国の防災体制に教訓を残した大災害です。その一つが、自主防災組織の大切さを再認識させられたことです。

自主防災組織とは、地域住民が自主的に組織し、地域防災活動を実施する組織を言います。今回の「東日本大震災」では、なかなか公的支援が最前線へ届かない中、自主防災組織が活躍したという話を聞いています。

能登町は地域のつながりが強い地域であり、何かあったときにはみんなが集まり協力し合うという習慣があります。能登半島地震の際も、輪島市であれだけ家

屋が倒壊しながら、地域のつながりが被害を最小限にしました。

しかし、大きな災害ではみんなが被災者になります。地域での組織化、訓練、学習などの活動が、災害時の混乱を防ぎ、被害を最小限に食い止めるのです。

町は、自主防災組織の組織化向上に向けて「自主防災組織育成補助事業」を立ち上げました。この事業は自主防災組織の組織化、必要資機材などの整備などに対して補助し、活動に対して行政が指導していくという事業です。自主防災組織の大切さを理解していただき、地域からの積極的な取り組みに期待します。

原点は地域の絆

8年も前から、東日本大震災に備えてきた町がある。震度6弱の激しい揺れにも犠牲者を出さなかった岩手県一関市藤沢町だ。機動力抜群の自主防災組織は、自分たちの地域を守るだけでなく、甚大な被害を受けた沿岸部の支援活動まで行っている。藤沢町第24区自治会を取材した。

●取材協力 一関市市政情報課



1_チェーンソーやジャッキを使って倒壊建物から住民を救助するレスキュー隊／2_リヤカーを再利用した「人力救急車」。自動車が通れない場所で負傷者、病人や寝たきりの人などを搬送する／3_地区内の被害状況や安否を確認するバイク隊／4_炊き出しに必要な物資、食材や調味料はみんなが持ち寄った。手分けして80人分の食事を準備／5_復興水田「がんばっ田」の田植え／6_被災者と一緒にホテルを鑑賞。神秘的な光が心をいやした



DATA【岩手県一関市藤沢町】
一関市と旧藤沢町は9月26日に合併。面積1,256.25km²、人口12万8571人(10月1日現在)の新一関市が誕生した。市の南東部に位置する藤沢町の自主防災組織結成率は95.3%。3.11以降は自治会や各種団体などが沿岸被災地に向いて継続的で連続的な支援活動を行っている。町は約200人の被災者を受け入れている。



大地震を想定した訓練

岩手県一関市藤沢町。ここに、東北を代表する自主防災組織がある。藤沢町第24区自治会(130世帯)だ。

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で同地域は余震を含め震度6弱を3度も観測した。だが、巨大地震に備え8年も前から訓練を繰り返してきた自主防災活動によって犠牲者を出さずにすんだ。

同自治会は05年4月に自主防災組織を設置。以来、宮城県沖を震源とする巨大地震災害を想定した各種訓練を何度も何度も行ってきた。

「リアルで本気」な訓練は、最後までシナリオを明かさず。集まった人を見て、「あなたは救助係」「あなたは炊き出し係」したり、不安におびえたりしている人たちを避難所へ誘導した。だが、指定避難所の自治会館は強い揺れで損壊しており、想定外の対応を迫られた。

「外は雪が降っていた。そこで、隣の家のビニールハウスを借り、暖房器具や毛布を持ち寄って一晩過ごした」

翌日には、地域のコミュニティセンターに避難所を開設。電気が復旧するまでの3日間、発電機と投光器で明かりをとり、米や野菜を持ち寄った。

沿岸部への支援活動も震災翌日から。隣接する宮城県気仙沼市に救援物資を届けたり、炊き出しをしたりした。「自分たちも被災しているが、三陸沿岸は壊滅的な被害を受け、何もかも不足していた。隣町だからこそできることは、すぐに行くことだった」と佐藤さんは振り返る。

世代を超え結ばれる絆

同時広域的に発生する大規模災害では、消防や行政の支援の手が届くまでに数日はかかる。それまでは自力で生き延びるし

と役割を決めていく。防災リーダーの佐藤幸生さんは「避難する訓練ではなく生き延びる訓練をしなければならない。本気だ」ときっぱり。ここでは、誰が何の役割を与えられても対応できることが大前提。全員がCPR(心肺蘇生)を実践できる。バイク隊やレスキュー隊もあるから驚きだ。

想定外にも冷静に対応

3月11日の大震災では電気、ガス、水道、電話など全てのライフラインが寸断された。地震発生後、自主防は地域の一人暮らしや高齢者世帯を全て回って安否を確認。家屋が損壊

かない。藤沢町は同自治会だけでなく、町内に41ある自主防災組織が住民の安否確認や避難誘導を行ったという。

「自主防は組織することが目的ではない。大事なことは、災害時に、それが確実に機能するかどうか」と話す佐藤さん。その前提として、「日頃から近所や地域との信頼関係を築くことが大事」とアドバイスする。

同自治会は、隣接する3つの自治会と共に復興水田「がんばっ田」を開設。藤沢に移り住んだ沿岸の人たちと田植えから稲刈りまでを行った。10月10日に収穫されたあきたこまちは約1トン。「復興支援米」として藤沢に移り住んだ被災者に配られた。そのほかにも、一緒に夏祭りをしたり、ホテルを鑑賞したり、地域の仲間として絆を深めている。

「困っている人がいれば、自分のことは後回し」が藤沢の地域性。世代を超えて結ばれた地域の「和」は互いの心に響きあう支援の「輪」を生み出し、自治体の枠を超えた復興の「環」となって広がっている。



無駄のない訓練ほど無駄なものはない。
第24区自治会地域防災リーダー
佐藤幸生さん

訓練は「命を守るため」にある。にもかかわらず、多くの防災訓練は、あらかじめ想定が周知され、役割や行動が決まっている。分刻みで設定されたシナリオ通りに進められている。東日本大震災では「想定外」という言葉が何度も使われたが、もともと災害にシナリオなどない。リーダーが不在でも機能する自主防災組織、どんな状況であっても対応できる自主防災活動が不可欠だ。そのためには、普段から「何ができて、何ができないのか」を知っていなければならない。無駄のない訓練ほど無駄である。無駄なことを繰り返すことで、本当に必要なことが見えてくるからだ。

命を守る使命



【写真】AED取扱訓練で、消防職員の手伝いを受けながら心肺蘇生法を体験する能登高校生。

3・11を忘れるな。

「能登町防災総合訓練」は10月16日、宇出津新港を主会場に能登町一円で開催された。

能登半島沖を震源とする震度6強の地震が発生。沿岸部には30分後に5メートルの津波が到来すると想定された。

宇出津新港では、町内30の関係機関や地域住民ら約500人が参加。炊き出し訓練や火災防衛訓練、救出訓練など、災害時の備えや対応などを確認した。

今回の訓練では、東日本大震災を踏まえて、沿岸部を中心に津波避難訓練が実施された。午前7時30分に大津波警報が発令されたと仮定し、地域住民が避難経路を確認しながら高台の避難所へ避難。集計を取った8カ所では545人が集まった。

東日本大震災から7カ月が経過した。私たちにできることは、災害の記憶を風化させることなく、訓練で得た高い防災意識を継続させていくことだ。



【左】能登高校生、婦人会、役場職員、地域住民らによる初期消火訓練。すばやくバケツをリレーするには知識と訓練が必要。消防職員や女性防火クラブ員らが指導した。



【右】ポンプ車による放水体験訓練。能登高校生や地域住民らが、消防職員の指導を受けながら普段体験できない放水を体験した。



【右】土のう作成・土のう積み訓練では、消防団員・役場職員・地域住民らが協力して土のうを作成。浸水を想定して積み上げられた。



【左】中層ビルでの建物火災消火訓練。消防署員が迅速にビルに駆け上がり消火活動を行った。ビルの周りでは、延焼を防ぐために消防団員が放水作業を実施した。

大規模災害に備える自治体の使命

災害発生時、自治体の責任者として災害対策本部長を務める持木一茂町長。大規模災害に備える自治体の使命は何か。町の防災体制の再構築はどうなるのかを聞いた。



能登町長 持木一茂

被災地を視察した感想は。

8月16日から3日間、宮城県女川町などを視察してきました。現地では、映像で見ただけでは伝わらない津波の威力のすさまじさを肌で感じました。これまでの防災は、主に地震や台風などを想定してきましたが、今後は津波も想定しなければなりません。地震であれば家や道路が局部的に壊れるだけで、津波は全てを流してしまします。海岸線の道路が使えなくなる場合に備え、内陸から物資を運ぶ道路網を整備するなど、津波被害を想定した町づくりに必要だと考えています。

具体的な備えは。

能登町48キロの海岸線全てに高い防波堤を作ることは現実的ではありません。まず避難場所や避難路、避難看板などの見直しと整備を行い、国や県の新たな指針に合わせたハザードマップを作成します。備蓄品の保管場所や種類の見直しも進めています。避難所に避難した住民が、72時間（3日間）生き延びられる体制を早急に構築します。

町が避難路を整備しても、いざというときに通行できない状態では意味がありません。地域の防災力を高めるためには、地域の協力が不可欠であり、今後は自主防災組織と防災士の育成にも力を入れていきます。地域には高い防災意識と知識を持った消防団員もいます。災害発生時の役割は違いますが、防災士が増えるまでは自主防の立ち上げなどで地域の中心的役割を担ってほしいと思います。

防災総合訓練を振り返って。

各地区の避難訓練には多くの住民が参加してくれました。避

難路と避難時間を確認するだけでも、いざというときに立ち

ます。今後は大規模訓練だけではなく、地域単位で住民が参加しやすい形も検討します。

防災体制を強化していくためには、訓練をして終わりではなく、その内容を十分検証していくことが重要です。

災害に備える自治体の使命は。

私は常々「教育」「福祉」「防災」が自治体の使命だと考えています。今後はより防災に力を入れ、大規模災害に備えていきます。それは数百年後かもしれないですが、取り組みは決して無駄にはなりません。自治体として必要なことをしっかりとやりながら、地域住民の自主的な防災活動を支援していきます。

現在、小中学校で取り組んでくれている防災教育は、「教育」と「防災」を結びつけて子どもの命を守る、家庭や地域の防災意識を高める一つのモデルとなります。ほかの学校でも取り入れることができるか、教育委員会や防災担当課と共に検討していきます。

心が変われば行動が変わる。
防災も心から。
まずは心の防波堤を高くしよう。
かけがえのない命を守るために――。



「津波襲来時、逃げ遅れた高齢者を助けに行った多くの消防団員が津波に巻き込まれた」
東日本大震災が突きつける一つの事実。

自分が避難しないことで、ほかの人の命まで奪うことになるかもしれない。すぐに避難すれば、多くの命が助かるかもしれない。

津波避難は、自分一人の問題ではないのだ。

「揺れたら逃げる」を、家庭や地域の合言葉にしよう。逃げて津波は来ないかもしれない。その時は「津波が来なくて良かった」「良い避難訓練になったね」と笑えばいい。

『居安思危（こあんしき）』という言葉がある。

「安きにありて危うきを思う」何も無い平穏な時こそ、危険を思い備えを忘れないという意味。防災の心は『居安思危』と言われる。

大切なことは「心」を変えることだ。

心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。

防災も心からはじまる。まずは自分を守るか。そして家族を守るかを考える。

子どもだけで留守番をしているときに地震が来たら、親が迎えに来るまで家で待つのか、子どもだけで避難するのか。家庭で話し合ったことがなかったら、子どもは家で親を待つかもしれない。高齢者だけの場合も同じだ。

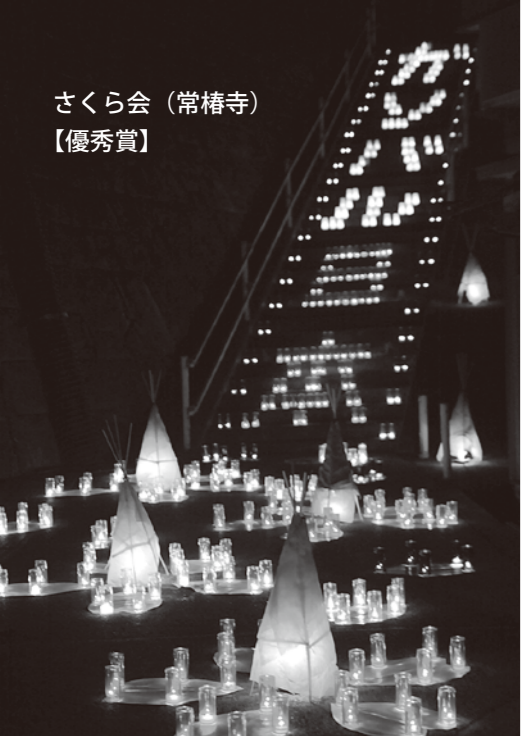
「子どもは必ず避難所に逃げている」と確信できるまで家族で話し合おう。「親も必ず避難して、絶対に迎えに来る」と安心させよう。

『津波でんでんこ』は、家族の絆があつてこそその言葉であり、東北地方が教えてくれた生き抜くための知恵だ。

今日から、心の防波堤を高くしよう。かけがえのない命を守るために――。

【写真】10月16日、小木地区避難訓練で小木中学校に避難する地域住民

さくら会 (常椿寺)
【優秀賞】



音羽町町内会
【最優秀賞】



9/25

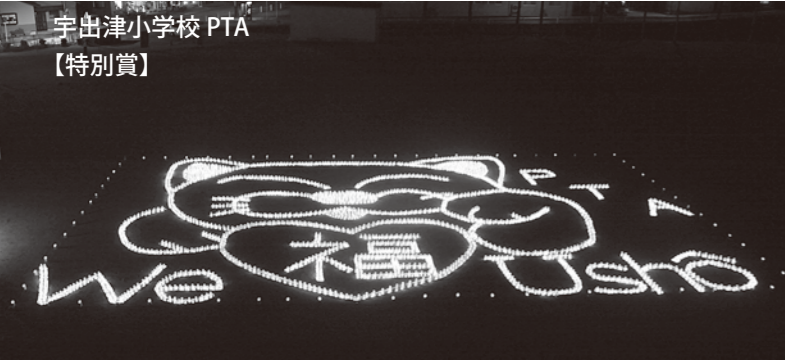
秋の柳田路を
約1,100人が
歩き、走る。

「猿鬼歩こう走ろう健康大会」は9月25日、柳田運動公園で開催されました。25回目を数えるこの大会には、選手・ボランティアを含めて約1400人が参加。幼児からお年寄りまで、秋の柳田路を満喫しながら自分のペースで大会を楽しんでいました。昨年に引き続いて今大会のゲストランナーとなった国際弁護士の丸山和也さんは、「世界農業遺産に登録されるほどの能登のコースは最高です」と参加者に呼び掛け、10^{キロ}のコースを完走しました。

第25回 猿鬼歩こう走ろう健康大会



宇出津小学校 PTA
【特別賞】



9/25 港町宇出津灯り フェスティバル

～灯りコンテストフォトレポート～

「港町宇出津灯りフェスティバル」は、今年も宇出津の町に約2万5千個の灯りをともしました。灯りコンテストには12団体が参加。灯りを使ったアートを競いました。

能都ロータリークラブ (因念寺)



興能信用金庫 (まんさきドリーム広場)



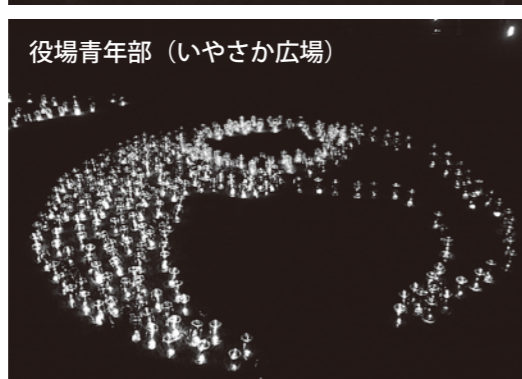
酒垂神社氏子青年会



中組町内会



役場青年部 (いやさか広場)



鳳遊海 (いやさか広場)



小棚木町内会



商工会青年部
(大乘寺)



大橋組町内会 (こどもみらいセンター)



【大会結果】

- ①ハーフ高校～49歳男子①南藤宏和 (奈良県) 1:16:12 ②中田武宏③永井悟志
- ②ハーフ50歳以上男子①赤松 淳 (福井県) 1:27:40 ②新出光男③北 渡
- ③ハーフ高校生以上女子①西野直美 (富山県) 1:33:19 ②木村真由美③坂田和恵
- ④10km高校生～49歳男子①本郷孝知 (東京都) 0:37:15 ②加藤 保③本殿広和
- ⑤10km50歳以上男子①岡田雅宏 (珠洲市) 0:37:30 ②山口弥八③寺谷内 亮
※ゲストランナー丸山和也 1:07:12
- ⑥10km高校生～49歳女子①道下 恵 (七尾市) 0:45:13 ②坂本愛実③虎谷友江
- ⑦10km50歳以上女子①山下富志子 (石川郡) 0:48:40 ②酒谷洋子③山添正枝
- ⑧5km高校生～49歳男子①垣内和彦 (珠洲市) 0:16:57 ②中村圭宏③蒲池淳二
- ⑨5km50歳以上男子①田畑正村 (七尾市) 0:19:40 ②中村 守③坂谷直樹
- ⑩5km高校生～49歳女子①信田有里彩 (鳳珠郡) 0:24:50 ②中野文絵③久米順子
- ⑪5km50歳以上女子①駒井キミ子 (羽咋市) 0:26:18 ②山本榮子③天方陽子
- ⑫3km高校生以上男子①山本勝久 (石川郡) 0:10:18 ②米谷 誠③山本敏幸
- ⑬3km高校生以上女子①矢野初美 (珠洲市) 0:15:10 ②佐々木和子③中橋和美
- ⑭3km中学生男子①道下新太 (七尾市) 0:10:26 ②高田知齊③石田元基
- ⑮3km中学生女子①佐竹莉奈 (七尾市) 0:10:41 ②佐藤彩羅③山本 楓
- ⑯3km小学生男子①中 瑠樹也 (河北郡) 0:11:13 ②山本 嵐③森 諒人
- ⑰3km小学生女子①湊 杏菜 (七尾市) 0:12:01 ②吉田優海③佐古田宇音

永田町の猿鬼が政界を切る。

大会前日の9月24日、能都庁舎大集会場で、本大会のゲストランナー、丸山和也さんの記念講演が行われました。参議院議員でもある丸山さんは、政界の裏話や弁護士活動のエピソードなどをユーモアたっぷりに話し、集まった約150人を楽しませました。



金沢星稜大学が小木で地域貢献
日和山公園で景観保全活動に汗

金沢星稜大学・吉川顕磨教授のゼミ生 23 人が 10 月 1 日、小木の日和山公園で地元住民と下草刈りなどの景観保全活動を行いました。

吉川ゼミは平成 21 年から継続して小木地区を訪れていて、昨年 9 月に開催した「小木研究会」では、九十九湾を一望できる日和山公園の景観保全などを学生が提案しています。

学生たちは、小木地区壮青年連合会や小木地区開発協議会のメンバーと一緒に公園の景観を損ねている落ち葉や枯れ枝などを拾ったり、下草刈りなどをしました。



熊手で芝生の落ち葉を集める学生ら



親子でサツマイモを収穫する団員ら

スポーツ少年団能都支部が芋掘り
収穫したサツマイモは相馬市へ

町スポーツ少年団能都支部の収穫体験が 10 月 16 日、瑞穂の農場で行われ、団員と保護者ら約 200 人が芋掘りに汗を流しました。

農業の知識と収穫の喜びを感じてもらうための恒例行事。サツマイモは、能都農業青年会議や J A 瑞穂地区婦人部に協力してもらって 6 月に植えたもので、今年は収穫したイモの一部を福島県相馬市のスポーツ少年団に応援メッセージを添えて送るということです。相馬市は、能登町が来年 1 月に姉妹都市提携を結ぶ千葉県流山市の姉妹都市です。

中学生海外研修報告会
オーストラリアで成長した夏

能登町中学生海外研修報告会は 9 月 28 日、能都庁舎で開かれました。報告会では、7 月 27 日から 8 月 5 日まで（9 泊 10 日）オーストラリアのブリスベンに滞在した生徒 11 人が、町長や教育長らに現地での活動や体験談を発表しました。

一行は現地のウェラーズ・ヒル・ステイト・スクールを訪れ、英語で能登町を紹介したほか、習字やお手玉、折り紙などの日本文化を伝えたこと、ホームステイでの食文化や生活習慣の違いに戸惑ったことなどユーモアを交えて報告しました。保護者からは、「子どもの成長が見えた」などの感想がありました。



オーストラリアでの経験を報告する生徒



縄張りされた道を歩くワンさん夫妻(中央)

里山の作法で昔ながらの結婚式
台湾から来た「能登の花嫁」

里山の恵みを生かした農家民宿群「春蘭の里」で 10 月 15 日、外国人夫婦の結婚式が挙行されました。里山の伝統的な作法で結ばれたのは、ともに台湾出身のワン・ミンハウさん（29）とセン・ケイブンさん（27）。仏前で挙式し、来日した親族や友人らの前で幸せな家庭を築くことを誓いました。

花嫁行列では、「困難を乗り越えてほしい」という願いを込めて、地元住民らが「縄張り」を行いました。センさんは「着物を着ることができて、楽しい」と笑顔。春蘭の里事務局で働くワンさんは「これからも日本で頑張りたい」と話しました。

能登きのご祭り 2011
能登きのごを求めて長蛇の列

第 2 回能登きのご祭りは 10 月 16 日、柳田植物公園で開催されました。会場には、マツタケやキノミタケなど能登の里山で採取されたキノコ約 170 点がずらりと並びました。マツタケは審査員による品評会が行われ、中塚耕助さん（柳田）が昨年に引き続いて県知事賞を獲得しました。キノコ御飯や能登牛、地ビールなどが味わえる屋台村では、能登町の旬の味覚を求めて長蛇の列ができていました。「全国嵐あげ能登大会」も同時開催。全国から約 30 団体の愛好家が参加しました。



▲きのこ村初代村長に就任したカールおじさん



◀マツタケの競り市で、真剣に品定めをする来場者

体験型交通安全教室
反射材がいかに安全かを体験

能登警察署の体験型交通安全教室が 9 月 26 日、能登自動車学校で開催され、地元住民や関係者など約 60 人が反射材の効果や車のライトが引き起こす各種の現象などを確認しました。

服装の違いや反射材をつける場所を変えて、何メートル先でドライバーが認知するかを実験。白い服装であっても決して安全でないことや足元につける反射材が効果的であることなどを確認しました。能登町は県内自治体で唯一「反射材着用の町」を宣言。能登署の調べでも着用率は 20% 近くあり、寺西署長は「今後も着用を呼びかけていきたい」と話していました。



反射材の効果を確認する参加者

釣り上げたアオリイカ 5 杯の総重量を競いました



ジャパンカラマリクラシック in 能登
能登町の海から被災地を応援

9 月 24 日、鶴川漁港で東日本震災復興イベント「第 1 回ジャパンカラマリクラシック in 能登」が開催されました。

西は兵庫、大阪、京都、三重、愛知、福井、岐阜そして東は東京、横浜、長野、富山、新潟、秋田と、全国から 120 人が参加しました。参加者からは「能登は本当に素晴らしい所だった。ぜひ来年も遊びに来たい」と満足の声が聞かれました。

今大会で集まった義援金は、総額 55 万 1494 円。主催者らは「有意義な大会となった。地域復興のためにも、また来年も開催したい」と感想を述べていました。

ま
ち
の
出
来
事

お知らせ 地上デジタルテレビ

アンテナで七尾中継局(能登島)のデジタル放送を受信している方へ

地上デジタル放送のチャンネルが変わります。このため平成23年11月21日月以後にテレビ・録画機などが映らなくなる可能性があります。

- リモコン番号は
- ・リモコン番号2 NHK Eテレ(教育)
- ・リモコン番号5 北陸朝日放送(HAB)

映らなくなった場合は、ご自身で「チャンネルの再設定(再スキャン)」を行っていただくか、下記まで問い合わせください。

※「能登町有線テレビ」に加入している人は、チャンネル設定は不要です。

〈問い合わせ〉
チャンネル変更コールセンター ☎0120-922-303
〈受付時間〉9:00～21:00(土日祝は18:00まで)
※IP電話などで上記番号につながらない場合は
☎03-4321-0770まで。

お知らせ リサイクルフェア

使える物を再利用。リサイクルフェア開催

〈期日〉11月5日(土)
〈申込時間〉8:30～10:00
〈当選者の決定〉10:00～本人による抽選
〈会場〉奥能登クリーンセンター管理棟(上町)
〈販売物品〉自転車コーナー、家具コーナー(サイドボード、たんすなど)、その他コーナー(ゴルフクラブ、ベビーカーなど)
〈その他〉販売は珠洲市民・能登町民に限ります。コーナーごとに一人2品までなど注意事項がありますので、会場でご確認ください。

☎奥能登クリーン組合 ☎62-8222

奥能登クリーン

検索

お願い 下水道

下水道への接続をお願いします。

下水道が供用開始となった地域では、下水道法第10条に基づき下水道への接続が義務付けられています。環境衛生の向上と河川の水質保全のために下水道への接続をお願いします。

☎上下水道課 ☎72-2507

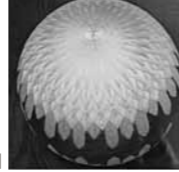
ニュース 全国手まりコンテスト

川端信子さん(市之瀬)の作品が2度目の文部科学大臣賞を受賞

第3回全国手まりコンテスト(NPO法人日本手まり文化振興協会主催)の表彰式が10月5日、東京都千代田区の参議院会館で行われ、川端信子さんの作品が最高賞となる文部科学大臣賞を受賞しました。

日本の伝統文化の一つとして、世界から注目される「手まり」。川端さんの受賞作「菊」は、11月に台湾で展示され、「梅」という作品が李登輝元総統に献上されるということです。

▶2度目の文部科学大臣賞を受賞した「菊」



お知らせ 能登町ハーモニーセンター

文化・交流活動の拠点として利用ください。

「能登町ハーモニーセンター」は、遠島山公園内の旧奥能登ユースホステルを、文化活動の拠点とするためリニューアルした施設です。

展示発表・創作会議など、皆さんの文化・交流活動の場としてご利用ください。
〈施設内容〉創作室(9室)、大展示場(1階・2階)
〈開館時間〉9:00～17:00
〈申込・問い合わせ〉ふるさと振興課 ☎62-8532



講座 心のケア講座

DVをなくす社会を築くための講座

〈演題〉『傷ついた心の回復』
～DV、災害からのトラウマの理解～
〈講師〉寺井弘実氏(金沢星稜大学人間科学部准教授)(プロフィール)金沢大学法文学部心理学専攻卒業(臨床心理士)金沢市教育プラザ富樫 こども総合相談センター所長補佐を経て現職
〈日時〉11月25日(金)14:00～
〈場所〉能都庁舎3階研修室
〈申し込み〉DVホットラインのと
事務局 長 弘崎弘美 携帯 ☎090-1635-2677
メール: runbini@ca2.luckynet.jp
〈主催〉DVホットラインのと
☎教育委員会事務局 ☎72-2509

【能登町役場】☎62-1000(代)

能都庁舎 (☎62-4506)
総務課 ☎62-8510
企画財政課 ☎62-8503
監理課 ☎62-8504
税務課 ☎62-8505
収納対策室 ☎62-8506
環境対策課 ☎62-8507

町民課 ☎62-8500
能都サービス室 ☎62-8500
ふるさと振興課 ☎62-8532
海洋深層水対策室 ☎62-8533
会計課 ☎62-8509

柳田庁舎 (☎76-0039)
広報情報推進課 ☎76-8301
農林水産課 ☎76-8302

柳田サービス室 ☎76-8300
農業委員会 ☎76-8303
建設課 ☎76-8304

内浦庁舎 (☎72-2108)
健康福祉課
(児童保育) ☎72-2512
(医療介護) ☎72-2502
(福祉庶務) ☎72-2503

(健康推進) ☎72-2504
(包括支援) ☎72-2513
内浦サービス室 ☎72-2500
上下水道課 ☎72-2507
教育委員会事務局 ☎72-2509

議会庁舎
議会事務局 ☎76-8310

ニュース ふるさとの匠

前田善栄さん(宇出津)と水木由一さん(柳田)が「ふるさとの匠」に認定

石川県が農林漁業に関する優れた知識・技術を持つ人を認定する「ふるさとの匠」に前田善栄さん(78)＝姫＝と水木由一さん(71)＝柳田＝が認定されました。10月17日には能都庁舎を訪れ、持木町長に認定の喜びと今後の抱負を語りました。

前田さんはイカ加工品の製造に関する「加工の匠」として、水木さんはのとキリシマツツジの挿し芽、盆栽に関する「伝承の匠」として認定されました。

前田さんは「長年のイカへの思いが認められてうれしい。今後も町の活性化に寄与したい」。水木さんも「町の花であるのとキリシマを多くの人に知ってもらうために今後も努力していきたい」と話しました。



持木町長に報告する前田さん(右)と水木さん。今回の認定で能登町在住の「ふるさとの匠」は8人になりました。

お知らせ 東日本大震災義援金

義援金総額12,409,683円(10/10現在) 皆さんの善意は必ず被災地へ届けます。

義援金の受け付けは、各庁舎、支所、出張所で引き続き行っています。今後ともご協力をお願いします。

9月21日から10月10日に役場窓口で義援金を受け付けた団体(敬称略)
・H23 まほろば成人式実行委員会

☎総務課 ☎62-8510

お知らせ 能登町職員採用

平成23年度能登町職員採用候補者試験

〈採用予定人員および職種〉技能労務職 若干名
(能登町多目的交流センター勤務)
〈受験資格〉昭和46年4月2日以降に生まれた人で、危険物取扱者(乙種第4類)の資格を有し、8t限定なしの中型免許(マイクロバス)の免許を有している人または平成24年2月までに免許取得見込みの人
〈住所要件〉能登町に住所を有する人(実父母の住所が能登町にあれば受験可)
〈受験手続〉受験申込書(各サービス室、支所・出張所、ハローワークのとで交付)に必要な事項を記載し、健康診断書と履歴書を添えて役場総務課職員係に提出してください。
〈試験日時〉12月3日(土)10:00
〈試験会場〉能都庁舎3階302会議室
〈受付期間〉11月1日(火)～11月30日(木)まで
〈選考方法〉作文試験(600字程度)、面接試験
〈合格から採用まで〉12月下旬までに全受験者に通知します。採用が内定した人は、原則として平成24年4月1日以降に採用されますが、場合によってはそれ以前に採用されることがあります。
〈初任給〉137,200円(高校3卒)

有線放送施設業務に関わる臨時職員募集

〈募集人員および職種〉事務補助員 1人
〈職務内容〉町有線放送施設の障害対応などに関わる事務補助員(パソコン操作のできる人)
〈雇用期間〉平成23年12月1日～平成24年3月31日
〈賃金〉日額5,800円
〈応募手続〉受験申込書(各サービス室、支所・出張所、ハローワークのとで交付)に必要な事項を記載し、履歴書を添えて役場総務課職員係に提出してください。
〈応募期間〉11月1日(火)～11月22日(火)
〈選考日時〉11月26日(土)10:00
〈選考場所〉能都庁舎3階302会議室
☎総務課 ☎62-8510

冊子は、今年3月に作成した第1弾の続編で、各国の歌や植物、スポーツを紹介するほか、外国人学生と日本人学生による座談会を掲載し、児童生徒に多文化共生の大切さをわかりやすく伝えています。

今回の冊子には、オーストラリア出身で民俗を営んでいる



石川県は児童生徒の「多文化共生」への理解を深める冊子「多文化い〜じい〜スクール」の第2弾を作成し、県内の小学校5、6年生と中学1年生全員に配布しました。

「多文化い〜じい〜スクール」第2弾

多文化共生のとびら

波並のベンジャミン・マックス ウェル・フラットさんが登場。理科の授業として、南半球に位置するオーストラリアの生活を紹介します。

27日、地域交流会を開きます
多文化共生地域交流会の「と」を11月27日の日曜日に役場の黒田正人さんです。



▲今年1月に輪島市で開催された地域交流会の様子。講演の後、小グループに分かれて意見交換を行った。

【入札結果】

9月16日～10月15日

広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎監理課 ☎62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
町道2級柿生1号線 道路改良工事 (4号箇所) 法面工	柿生	建設課	5,628,000円	(株)ランドスケープ開発
赤崎コミュニティセンター 建設工事	布浦	総務課	22,029,000円	(株)西中建設
舗装本復旧工事 (齊和地内)	中齊	上下水道課	10,185,000円	北川ヒューテック(株)
十郎原ポンプ場改良設備工事	十郎原	上下水道課	15,834,000円	(有)能登電業社
旧城野団地 解体工事	宇出津山分	建設課	10,458,000円	(有)蔵木工所
配水管布設工事 (上町地内)	上町	上下水道課	12,600,000円	(株)青木産業
宇出津小学校スクールバス 車両購入 (その1)	宇出津	教育委員会事務局	5,940,900円	(株)ビックオート
宇出津小学校スクールバス 車両購入 (その2)	宇出津	教育委員会事務局	5,940,900円	(株)ビックオート
能登町移動公民館 (マイクロバス) 車両購入	松波	教育委員会事務局	5,689,950円	(株)ビックオート

国民年金Q&A

Q 60歳未満で老齢の年金を受けていますが、国民年金に加入するのですか。

A 厚生年金保険や共済組合の老齢の年金を受けている人は、必ずしも国民年金に加入しなくてもよいことになっています。国民年金に加入すべきかどうかは、あなたが判断することになります。加入しない場合は、65歳から受ける国民年金の老齢基礎年金がその分少なくなる可能性があります。お近くの年金事務所にご相談ください。

Q 60歳未満で厚生年金保険の障害年金を受けていますが、退職した場合は国民年金に加入するのですか。

A 厚生年金保険の障害年金を受けている人でも、60歳未満の場合、退職後は国民年金に加入しなければなりません。退職後14日以内に手続きをしてください。国民年金や厚生年金保険などから1、2級の障害年金を受けているときは、保険料の免除が受けられます。

【資料提供：日本年金機構】

消防 能登消防署からののお知らせ

秋季火災予防運動

平成23年度全国統一防火標語

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

〈期間〉11月9日(木)～11月15日(火)までの7日間

最近、能登町内で住宅火災が連続して発生しています。これからの季節、寒さと共に火を取り扱う機会も増えてきます。火の取り扱いには十分注意して、火災予防にご協力ください。

設置していますか?住宅用火災警報器

火災から大切な家族を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

平成20年6月1日から、設置が義務化されました。



【火災の事例】



天ぷら油を加熱したままその場を離れたため、鍋から火が上がり警報器が熱を感知。警報音に気づいた居住者が、初期消火と119番通報を行った。

2階居室で就寝していた男性は、1階にある祖母の部屋の警報器の音に気づき、仏壇から炎が上がっているのを発見。水を掛けて消火した。



悪質な訪問販売にご注意ください!

消防署や役場が「住宅用火災警報器」の訪問販売することはありません。特定の業者に商品があっせんしたり、販売を依頼することはありません。

☎能登消防署 ☎62-0492

納期 税金 / 保険料

今月の納期限は11月30日(水)です。

〈税金〉国民健康保険税第5期

〈保険料〉介護保険料第5期

後期高齢者医療保険料第8期

ニュース BBC ワールドチャレンジ

「ワールドチャレンジファイナリスト12」の中に「春蘭の里」が選ばれました。

英国放送協会(BBC)が、世界各地の草の根事業を公募して表彰する「BBCワールドチャレンジ2011」の最終候補12組が決定し、日本の団体では唯一「春蘭の里」(能登町)が選ばれています。BBCワールドチャレンジは今年が7年目。世界中から600以上のプロジェクトの応募がありました。

最終選考には、田舎の原風景や循環型農業体験を観光資源として、過疎化の抑制に取り組んでいる農家民宿群「春蘭の里」のほか、エジプトの非営利企業が行う高級紙製品をつくる事業やパラグアイでハーブティーなどの育成に取り組む団体など12組が選出されています。

最優秀賞を決める投票は、インターネット上で11月11日まで受け付けていて、ホームページ(<http://www.theworldchallenge.co.uk/>)から、誰でも投票することができます。投票結果は11月中旬に判明するということです。最終選考に残った12団体の取り組みも、見ることができます。

☎ふるさと振興課 ☎62-8532

募集 町営住宅

町営住宅入居者を募集します。

〈募集期間〉11月14日(月)まで

〈対象住宅〉

九十九団地 (小木3丁目8番地) 1戸 (2LDK)

家賃: 所得によって月額約15,000～25,000円

桜木住宅 (鶴川30字1番地) 2戸 (2DK)

家賃: 所得によって月額約17,000～25,000円

〈入居資格〉

①能登町に住所を有する人 (予定者含む)

②住宅に困窮していることが明らかなる

③町税などの滞納がない人

④収入基準

入居者の所得月額が158,000円未満

⑤単身の人よりも複数世帯を優先します。

☎建設課住宅係 ☎76-8304



九十九団地

EnjoyNoto 能登町民文化祭

奥能登イベント情報

能登町からの情報として、2市1町の広報紙に「しおさサミット in 能登」を紹介しました。



○能登穴水三平堂落語会

〈日時〉12月3日(土) 17:00 開演
 〈場所〉穴水町さわやか交流館ブルー
 〈申し込み〉11月21日(月)必着 (入場無料)
 官製ハガキに必要事項を記入のうえ、申し込みください。詳細は下記まで。
 穴水町企画情報課 ☎ 0768-52-3625



○輪島かにまつり 2011

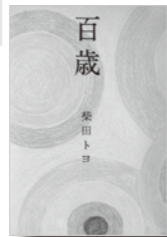
〈日時〉11月20日(日) 9:00～
 〈場所〉マリンタウン特設会場
 〈見所〉今月解禁したばかりの加能ガニ・香箱ガニを、かに汁やかに飯、大好評の炭火焼コーナーなどで満喫できます。輪島の冬を代表する味覚をぜひ味わってみてください。



○緑剛埼灯台内部一般公開

〈日時〉11月6日(日) 10:00～15:00
 〈見所〉緑剛埼灯台(狼煙町)の内部が一般公開されます。この機会に普段見ることのできない灯台内部をご覧ください。

今日のオススメ!



■百歳 柴田トヨ
 「百歳のゴールを胸を張って駆けぬけよう」98歳の処女詩集『くじけないで』で日本全国に感動の嵐を読んだトヨさんの第二詩集。

■おおきな おおきな おいも 赤羽末吉
 幼稚園の子どもたちが共同で描いた、とてつもなく大きなつまいもをめぐって、子どもたちの空想が無限に広がっていく愉快なお話。



11月の新刊案内

体脂肪計タニタの社員食堂
 ～500kcalのまんぷく定食～ タニタ
 マザーズ 金原ひとみ
 マスカレード・ホテル 東野圭吾
 神君家康の密書 加藤 廣
 夫婦口論 三浦朱門・曾野綾子
 ツレがうつになりました。 細川貂々

行事あない

■おはなし会 9日(水)・24日(木) 15:00
 ■おはなし学習会 9日(水) 19:30
 ■おはなし勉強会 20日(日) 13:30
 ■読書会 16日(水) 13:30
 〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
 〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

中央図書館 (宇出津公民館内)
 ☎ 62-3458

児童館だより

こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★: 対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:30 ◆休館日 月曜日、第3日曜日
 4日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
 9日(水) 15:30 ドッジボール大会 (小学生以上)
 11日(金) 10:30 ★子育て教室
 18日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
 19日(土) 10:30 こどもクッキング
 25日(金) 10:30 ★身体測定

まつなみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日
 2日(水) 15:00 読み聞かせボランティアひまわり
 9日(水) 15:00 もみじミニお茶会
 11日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)
 16日(水) 15:00 あっぶるたいむ「まんてん仮面の星のおはなし」
 19日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり

図書館へおいでよ

第7回 能登町民文化祭 11月5日(土)6日(日)

【会場案内】

・芸術(展示)部門 会場:内浦体育館
 5日9:00～17:00 6日9:00～15:00
 ・芸能発表 会場:内浦第二体育館
 6日9:00～16:30ごろ
 ・茶道部門 会場:内浦多目的施設
 5日9:30～15:30
 ・囲碁部門 会場:スポーツ研修センター
 5日9:30～
 ・西房浩二特別展 会場:町立美術館
 11月4日～12月4日(月曜休館)

マイクロバス運行時刻表 (停車は路線バスなどのバス停です)

◆柳田・山中経由(会場行き)

バス停名	朝の便	昼の便
柳田	8:15	12:00
上町公民館前	8:20	12:05
中又	8:23	12:08
能都庁舎	8:30	12:15
町立美術館		12:17
山中	8:36	12:23
不動寺	8:40	12:27
上	8:43	12:30
内浦庁舎前	8:47	12:34
内浦体育館	8:50	12:37

◆帰りの便

(両コースとも行きと逆回り)
 5日 内浦体育館発① 11:00 ② 15:00
 6日 ① 11:00 ② 芸能発表終了後

◆能都・小木経由(会場行き)

バス停名	朝の便	昼の便
鶴川口	7:50	12:00
能都七見	7:53	12:03
矢波弁天	7:57	12:06
波並駅前	8:00	12:09
藤波駅口	8:03	12:12
能都庁舎	8:08	12:15
町立美術館		12:17
羽根漁港	8:15	12:21
本小浦	8:20	12:26
縄文真脇温泉口	8:25	12:31
小木港	8:30	12:36
九十九湾	8:35	12:39
能登新保	8:38	12:42
新村	8:42	12:46
宮崎	8:45	12:49
内浦体育館	8:50	12:53



※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

楽しみましょう (ご案内)

第14回全日本ごいた大会参加者募集
 〈日時〉11月20日(日) 13:00～
 〈会場〉能登町商工会 本所 2階ホール
 〈参加料〉一人千円
 〈申し込み〉大会事務局 ☎ 62-0181

能登町スポーツ少年団指導者研修会

〈日時〉11月27日(日) 8:30～12:00
 〈会場〉内浦スポーツ研修センター
 〈対象者〉スポーツ少年団指導者(保護者)、体育指導委員、小中学校教諭等町内体育関係者 約50人
 〈内容〉心肺蘇生法(実技)、講義
 〈申し込み先〉内浦体育館
 〈申込期限〉11月18日(金)
 町スポーツ少年団事務局 ☎ 72-0200

がんばりました (結果)

第20回友田杯ミニバスケットボール大会(福井県9/23・24)
 〈女子の部〉②宇出津ミニバス

第31回全能登ミニバスケットボール大会宮田杯(10/8・9)
 〈女子の部〉②宇出津ミニバス

第9回石川県マスターズ秋季水泳競技大会(9/25)
 〈55～59歳25m自由型〉①土合洋
 〈同50m自由型〉①土合洋
 〈同50mバタフライ〉①土合洋
 〈30～34歳100m自由型〉③浜上将志

第17回北信越小学生バドミントン選手権大会(10/8・9)
 〈6年男子単〉③谷口諒真(能登町ジュニア) ※第20回全国小学生バドミントン選手権大会(北海道・12/23～27)の個人戦・団体戦に出場

第15回石川県小学生学年別ソフトテニス大会(10/9)
 〈6年男子〉②久山隆希・奥野立樹(鶴川ソフトテニス)⑧大町陸・中田悠斗(同)
 〈6年女子〉②山本英里・堂上愛華(同)⑧辻口萌・下畠奈巳(同)⑧山田実紅・西菜那(能登ジュニア)⑩濱田瑠奈・鶴野李佳(同)⑩浜中桃花・谷村明日香(同)
 〈4年女子〉②牧和音・中田優衣(鶴川ソフトテニス)
 ※以上、北信越小学生インドア大会(小松ドーム)出場決定
 〈3年以下〉③浜中彩花・濱田すみれ(能登町ジュニア)

第26回山田杯争奪ソフトテニス選手権大会(10/16)
 ①多原省吾・馬場准樹②川端光明・下畠慎也③関戸宏憲・大林夏樹③高宮大介・坪根俊幸

■能都中学校 鳳珠郡新人体育大会
 ・野球① ・男子バスケット①
 ・卓球女子個人③新谷果子
 全能登新人大会
 ・野球①(初)
 ・バドミントン団体 男子① 女子②
 男子シングルス③乙川一馬③板谷響
 同ダブルス①紙子恭輔・隅屋太郎②勘平凌我・安孫周
 女子ダブルス③濱谷穂乃香・干場冨華
 ・柔道 男子団体③ 男子個人60kg以下①山本達也 同50kg以下②尾形結照③和田祐樹

■小木中学校 全能登新人大会
 ・女子バスケットボール②

■鶴川中学校 鳳珠郡新人体育大会
 ・ソフトテニス 男子個人①高宮眞・山下康輔 女子個人①橋本茜・山瀬茉依
 ・卓球 女子団体① 女子個人①堂上京香③田中佳那 男子個人②槻大雅③出村尊斗

■柳田中学校 鳳珠郡新人体育大会
 ・女子バレーボール①
 全能登新人大会
 ・陸上女子 共通100mH②南安寿香 共通砲丸投⑥下野真夕梨 共通4×100mR⑦瀬戸・南・友田・鍛治
 七尾市陸上競技選手権大会(10/10)
 〈中学男子砲丸投〉①向口和馬

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ18】大学いも

さつまいもの主成分はでんぷんですが、各種ビタミンやミネラル類といった栄養素が豊富で、セルロース・ペクチンといった食物繊維を多く含んでいます。さつまいもの旬は9～11月。貯蔵されて水分の少なくなった1～3月の味が良いとされています。

材料	
さつまいも	大1本（300g程）
サラダ油	大さじ2
砂糖	大さじ2
いりごま	好みで
酢	小さじ1/3
しょうゆ	小さじ1/3

〇作り方

（ポイント）油で揚げない作り方です。

- ①さつまいもをきれいに洗い、皮ごと乱切りにし水につける。ペーパーなどで水気をふく。
- ②フライパンに油、砂糖、酢を入れ、芋をひらたく並べ、ふたをして、弱火で加熱する。
- ③時々、芋の表面を返して、ふたをしてさらに加熱する。
- ④竹串がスッとささったら、ふたをあけ、醤油を加え、砂糖がからむまで炒る。
- ⑤表面がカラッとしたらお皿に盛り付け、ごまをかける。



役場健康福祉課

【インフルエンザ予防接種】

65歳以上は予診票（全戸配布）をご利用ください

65歳以上の方は、今月号の広報と一緒に配布したチラシ裏の予診票を利用してください。予診票が不足する場合は、役場窓口（健康福祉課、能都・柳田サービス室、鶴川・小木支所、高倉出張所）や町内医療機関にあるものを利用してください。接種するときは、必ず予診票を記入して医療機関に提出しましょう。

1歳～高校3年生相当の年齢の人には、10月中にお知らせと予診票を郵送しました。届いていない場合で接種を希望する人は健康福祉課までご連絡ください。これから1歳になる人へは順次案内を送付します。

詳細はチラシをご参照ください。

〈接種期間〉平成23年11月1日～平成24年1月末日

〈接種場所〉町内医療機関ほか ～事前に医療機関に予約をしましょう～

〈料金〉1回あたり1,500円

●チラシに掲載している医療機関以外で接種したい場合や生活保護世帯で接種を希望する場合は、事前に健康福祉課までご連絡ください。

●今年度は非課税世帯の人の自己負担の助成はありません。

能登北部医師会 休日当番医（11月）【受付9:00～12:00】 都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

3日(木)	6日(日)	13日(日)	20日(日)	23日(水)	27日(日)
持木メディカルクリニック ☎ 62-1210 能登町宇出津	小西医院 ☎ 82-6800 珠洲市正院町	はしもとクリニック ☎ 62-8300 能登町崎山	井端内科医院 ☎ 84-2535 珠洲市宝立町	千間内科クリニック ☎ 62-1001 能登町宇出津	あいずみクリニック ☎ 82-0002 珠洲市飯田町
嘉門内科クリニック ☎ 0768-22-6776 輪島市杉平町	船木クリニック ☎ 0768-23-0866 輪島市釜屋谷町	山岸医院 ☎ 0768-42-1565 輪島市門前町	宮下医院 ☎ 0768-26-1311 輪島市三井町	永井医院 ☎ 0768-22-0032 輪島市鳳至町	伊藤医院（喜） ☎ 0768-42-0262 輪島市門前町

基本チェックリストの記入をお願いします。



年齢を重ねても元気で過ごすには、介護予防が必要です。心身の働きが低下していないか把握するため、「基本チェックリスト」の記入をお願いします。対象の人には、案内を郵送します。

〈対象地区〉能都・内浦地区

〈対象者〉75歳以上

（介護認定者を除く）

☎健康福祉課 地域包括支援センター ☎ 72-2513

◆乳児健診・BCG接種

〈日時〉12月1日(木) 〈受付時間〉12:45～13:00

〈対象〉平成23年7月7日～9月1日生まれ

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予診票

◆1歳6カ月児健診

〈日時〉11月24日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15

〈対象〉平成22年3月13日～5月23日生まれ

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票

◆3歳児健診

〈日時〉12月8日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15

〈対象〉平成20年8月10日～9月30日生まれ

〈場所〉能都庁舎 4階大集会場

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、採尿容器

不育症の治療費を助成します

不育症の診断を受け、治療をされている人に治療費の一部を助成します。

〈対象者〉

- ①～⑤いずれにも該当する人が対象です。
- ①婚姻後1年以上経過していること
- ②現在の婚姻関係との間に子がいないこと
- ③夫婦両者が対象治療を開始した日の1年以上前から能登町に居住していること
- ④産婦人科医により不育症と診断され、その治療を受けていること
- ⑤夫婦の前年所得の合算が730万円未満であること

〈助成対象経費〉

不育治療に要した医療保険適用外の費用

〈助成内容〉

1年度当たり30万円が上限になります。治療が翌年度にわたる場合は、その治療が終了してから申請してください。助成期間は、不育治療を開始した日から起算して通算5年間となります。

〈申請書類〉

- ①能登町不育治療支援事業助成金交付申請書
- ②不育治療医療機関証明書
- ③不育治療を行った医療機関発行の領収書
- ④夫婦の所得証明書

〈申請期間〉

治療が終了してから3カ月以内に申請してください。

☎役場健康福祉課 ☎ 72-2504

公立宇出津総合病院 だより

☎ 62-1311

http://www.hospitalnet.jp/

診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■精神科神経科診察のお知らせ

11月23日(水)は、平松先生の外来診察を行います。
〈診察時間〉9:00～12:00

■新任医師紹介

10月1日から宇出津総合病院内科勤務となりました、岡藤啓史（おかふじ・ひろふみ）と申します。石川県出身ながら初めて宇出津の地を踏みました。大自然に囲まれて3カ月間という短い間ですが、精一杯皆様のために頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



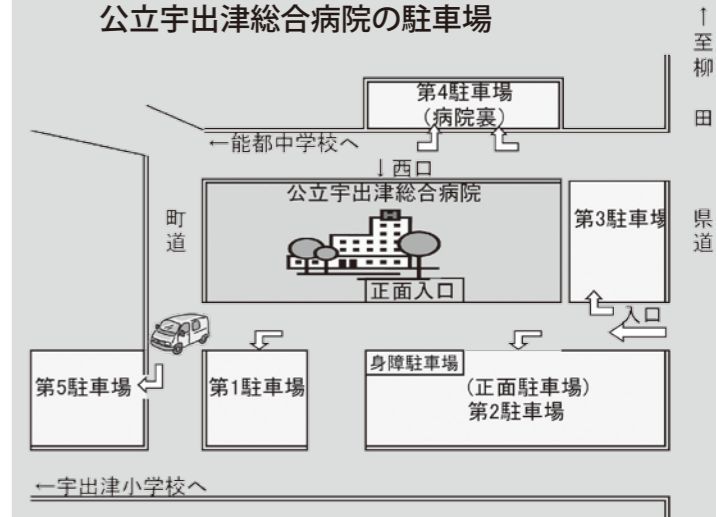
■公立宇出津総合病院から駐車場に関するお知らせとお願い

公立宇出津総合病院の駐車場は、午前中に混雑し、来院の皆様にご不便をおかけしています。

駐車場は下記のとおりですが、病院にご用のない人の駐車や無断駐車はご遠慮願います。

なお、混雑解消や無断駐車解消のために、早朝、駐車場整理員を配置しましたので、ご協力をお願いします。

公立宇出津総合病院の駐車場



病院奥や裏（第4・5駐車場）にも駐車場がありますのでご利用ください。

外来患者様の駐車場が確保できませんので、患者様・関係者以外の駐車はお断りしています。ご理解とご協力をお願いします。

くらしの掲示板

お知らせ

11日～17日は税を考える週間

【小中学生の「税についての作品展」】

・役場能都庁舎 2階

〈日時〉11月11日(金)～17日(木)

・能登空港ターミナルビル 2階

〈日時〉11月23日(水)～27日(日)

【無料税務相談会】

〈日時〉11月13日(日)

10:00～12:00、13:00～16:00

〈場所〉ワイプラザ(輪島市)

〈相談担当〉北陸税理士会輪島支部

【年末調整説明会(能登町対象)】

〈日時〉11月18日(金)10:00～12:00

〈場所〉能登空港ターミナルビル

☎輪島税務署 ☎ 0768-22-2242

犯罪被害給付制度があります

この制度は、殺人など故意の犯罪行為を受けた被害者などに対して、国が給付金を支給するもので、次の3種類があります。

- 遺族給付金
- 重傷病給付金
- 障害給付金

公的補償や損害賠償を受けた場合は、給付金の額が調整されます。また、親族間犯罪や犯罪被害者にも原因がある場合には給付金の全部または一部が支給されないことがあります。

☎能登警察署 ☎ 62-1334

浄化槽の法定検査普及員が訪問

浄化槽は保守点検・清掃(汚泥抜き取り)のほかに、年1回の法定検査が義務付けられています。

法定検査普及のため、「浄化槽法定検査普及員」がご家庭を訪問し、直

接説明します。

〈訪問期間〉平成24年3月までの平日9:00～16:00

☎石川県浄化槽協会 ☎ 076-241-7781

金沢駐屯地の創立61周年記念

11月20日(日)、陸上自衛隊金沢駐屯地が一般開放され、記念式典、観閲式などが行われます。当日は戦車試乗など普段できない体験もできます。ぜひご参加ください。

石川職業能力開発短大の学園祭

〈イベント名〉2011IPC学園祭

〈日時〉11月3日(木)9:00～

〈場所〉石川職業能力開発短期大学校

〈内容〉各種イベントや模擬店

☎大学学務援助課 ☎ 0768-52-1323

あなたのその行動が不幸な猫を

最近、庭や畑を荒らしたり、糞尿をして困るなど野良猫による苦情が多く寄せられます。原因は、野良猫がお腹をすかしてかわいそうだとエサを与えることにより、居ついてしまうことです。安易にエサだけ与えることが、逆にかわいそうな野良猫を増やしてしまうことになります。

不幸な猫を増やさない心掛けを、よろしくお願いします。

☎県能登北部保健所 ☎ 0768-22-2011

労働保険適用推進強化期間です

常用労働者を一人でも雇用している事業主は、雇用保険と労災保険に加入しなければなりません。

まだ労働保険に加入していない事

業主は、早急に加入手続きをお取りください。

☎穴水労働基準監督署 ☎ 0768-52-1140

労働時間適正化キャンペーン

過重労働による健康被害が依然多い状況で、割増賃金の不払いなど労働基準法違反も後を絶ちません。

厚生労働省では、11月を「労働時間適正化キャンペーン期間」と定め、長時間労働の抑制を重点として、労使関係者の自主的な取り組みの促進を図っています。

☎石川労働局 ☎ 076-265-4423

募集

地域づくり支援講座は聴講無料

■「能登の里海ウォッチング」

〈日時〉11月11日(金)18:20～19:50

〈講師〉坂井恵一氏(のと海洋ふれあいセンター普及課長)

■「穴水町・震災復興からのまちづくり」

〈日時〉11月25日(金)18:20～19:50

〈講師〉石川宣雄氏(穴水町長)
〈場所〉能登空港ターミナルビル4階
※聴講無料、予約不要です。

☎能登里山マイスター能登学舎

☎ 88-2568

能登の魅力再発見セミナー開催

能登が世界農業遺産に登録された今、私たちに何ができるのか、みんなでお考えましょう。入場無料です。

〈日時〉11月10日(木)15:00～

〈場所〉能登町商工会本所 2階

〈講師〉高峰博保氏(株)ぶなの森

〈申し込み〉11月8日(火)まで

☎能登町商工会 ☎ 62-0181

里親を考える集いを開催します

〈日時〉11月19日(土)13:30～15:10

〈場所〉石川県庁19階展望ロビー

〈演題〉「家族の絆を求めて」

〈講師〉若狭一廣氏

☎県少子化対策監室 ☎ 076-225-1421

「のと就職フェア」参加企業募集

〈日時〉12月26日(月)13:30～16:30

〈場所〉七尾サンライフプラザ

〈対象企業〉能登地域に事業所を有する企業

〈申込期限〉11月11日(金)先着25社

☎県産業立地課 ☎ 076-225-1517

陸自 高等工科学校の生徒募集

〈受付期間〉平成24年1月6日(金)まで

〈応募資格〉平成24年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子

〈試験期日〉平成24年1月14日(土)

☎自衛隊石川地方協力本部
能登地域事務所 ☎ 0768-52-4175

相談

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎

9日(水)、18日(金)10:00～12:00

■笹ゆり荘

8日(火)、22日(火)10:00～12:00

■内浦福祉センター

10日(木)13:30～15:30

■小木支所 21日(月)13:30～15:30

☎社会福祉協議会 ☎ 72-2322

行政相談委員にご相談ください

国や特殊法人などの仕事などで苦情、意見などがある場合、関係行政機関などと協力してその解決を図り、より良い行政運営の実現を目指します。気軽にご利用ください。

〈相談時間〉10:00～12:00

会場	日程	相談委員
笹ゆり荘	11月15日(火)	廣橋義男

☎役場総務課 ☎ 62-8510

能登法律相談センターの相談日

〈11月〉10日、17日、24日(木)

〈時間〉13:45～16:15(要予約)

〈場所〉穴水町保健センター

〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。

〈相談料〉30分以内：5,000円

☎金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

女性の人権ホットライン強化週間

「女性の人権ホットライン」は、DV、ストーカーなど女性をめぐるさまざまな人権問題の解決を図ります。

〈期間〉11月14日(月)～20日(日)

〈時間〉8:30～19:00 土日は10:00～17:00

〈電話番号〉0570-070-810

〈担当者〉法務局職員、人権擁護委員

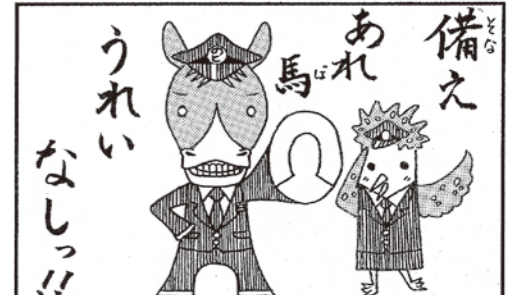
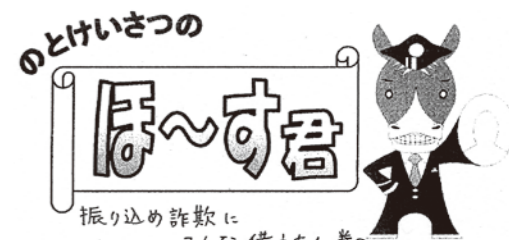
多重債務者無料相談会を開催

「多重債務者相談強化キャンペーン」期間中、無料相談会が開催されます。

〈時間〉9:30～12:30、13:30～16:30

開催日	相談会場	予約・問い合わせ
11月15日(火)	かほく市消費生活センター	076-283-7144
11月16日(水)	すず市交流センター	82-7760(市民課)
11月17日(木)	七尾市役所	0767-53-1112

※予約が必要で相談時間は30分です。



☎能登警察署・能登防犯協会
☎ 62-1334

有料広告

体験型ショールーム



見て、聴いて、体感できます。
お気軽にご来店ください。



☎サンユーワークス(HCMサンFC珠洲店グループ会社) 珠洲市飯田町7部76番地 TEL 0768-82-2118
http://www.sunyou-works.jp e-mail info@sunyou-works.jp

能登空港へ行こう！ ～11月のイベント～

☆6日◎ おらが故郷お国自慢

〈出演〉すぎの子太鼓ミニコンサート 〈時間〉14:30～

〈場所〉能登空港2Fロビー 〈協力〉宝達志水町

☆13日◎ のっぴーグラスを作ろう！！

～季節折々の「のっぴーグラス」で食卓を飾りませんか～

〈時間〉10:00～12:00、13:00～15:00

〈場所〉能登空港1F能登の旅情報センター
〈対象〉幼児から小学生以下優先【限定50人】
〈参加費〉無料

☆20日◎ おらが故郷お国自慢

〈出演〉羽咋こどもこと教室ミニコンサート

〈時間〉14:30～

〈場所〉能登空港2Fロビー 〈協力〉羽咋市

☎能登空港賑わい創出実行委員会 ☎ 0768-26-2303

しおサミット in 能登

「塩」に対する正しい理解を身に付けよう!

根拠のない「高血圧＝“塩”犯人説」
塩でもっとキレイに、健康になる!
塩の上手な選び方・摂り方

塩不足が日本人の健康を損ねている

《基調講演》

日本人には塩が足りない～正しい塩の選び方と伝統食育のすすめ～
講師：村上讓顕氏（海の精㈱代表取締役会長、国産こだわり海水塩の会長）
全国の製塩紹介
紹介者：玉井恵氏（㈱プランニングアドゥ代表取締役）
日時：11月19日④ 13:30 開場 14:00 開演
場所：能登町役場 能都庁舎 4階大集会場

《懇親会～能登の塩文化を味わう～》※要予約

日時：11月19日④ 18:00～
場所：国民宿舎能登うしつ荘 コンベンションホール
参加費：5,000円（飲料代含む）

《製塩施設見学》※要予約

日時：11月20日⑤ 9:00 うしつ荘からマイクロバス出発 12:00 解散予定
施設：㈱輪島製塩（揚げ浜式塩田）、(有)新海塩産業（流下式製塩）
能登海洋深層水施設（非直火式低温製法）
参加費：無料
《問い合わせ》能登町役場 海洋深層水対策室 ☎0768-62-8533

こ	せ	き
の	ま	ど
9/15	～	10/14

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

うぶづいえ

出生児 両親の名前 住所

中野仁愛 亮・奈津美 真脇
高嶋華子 真佐夫・恵子 柳田
佐野杏奈 慎太郎・みゆき 宇出津
井谷穂香 貴昭・優里香 小木
北口凌駕 貴弘・輝美 新保
藤岡美雅 仲幸・夢美 宮犬
中山沙耶 正嗣・とも子 五十里
大塚瑛太 正道・祥子 新保

高砂や

氏名 本籍 住所

谷内辰也 藤波 金沢市
佐々木里美 白山市
中谷智也 松波 白山市
坂下智一 宮犬 白山市
山本淳子 金沢市 白山市

おくやみ

氏名 年齢 住所

川端幸雄 63歳 越前川
丸谷きよ枝 93歳 鶴川
室谷伸吉 82歳 時長
奥野敏雄 88歳 上町
津雲幸子 75歳 越前坂
敷下スエ 90歳 河ヶ谷
川元美津子 75歳 市之瀬
渡瀬はる子 77歳 当目
東又ふさの 92歳 神和住
鳥本つる 97歳 宮地
番場弘一 75歳 鴨川
山岸國雄 77歳 曾又
出村てる子 66歳 笹川

寄付御礼

谷内春治さん（市之瀬） 10万円
丸谷清幸さん（鶴川） 10万円
室谷六江さん（時長） 50万円
鳳珠電気工事㈱ 20万円
匿名 50万円
匿名 30万円
匿名 16万円
以上、能登町社会福祉協議会へ

下谷利男 54歳 鶴山町
渡勇 91歳 崎木
角榮子 71歳 小間生
政重睦子 71歳 小間生
山本ハツエ 88歳 柿生
西尾榮吉 84歳 内浦長尾
西多みさを 91歳 布浦
石橋孫六 91歳 松波
宮下三四 98歳 宇出津
江端鈴子 84歳 鶴町
小杉幸市 91歳 本木
小泉志かの 97歳 上長尾

豊原知足さん（小木） 10万円
能登町へ

ふるさと納税寄附者
神和住純さん（東京都）

●人口・世帯数 平成23年10月1日現在（前月比）

人口(人)	20,630	- 39
男	9,701	- 21
女	10,929	- 18
世帯数(戸)	8,023	- 14
外国人登録者(人)	200	
男	143	
女	57	

編集後記

09年3月の能登半島地震。あれだけ大きく揺れながらも、自分は「津波が来る」とはまったく思わなかった。あの地震の震源が富山湾なら、自分の命も家族の命も守れなかったかもしれない。

災害の記憶は風化する。それでも備え続けるためには「防災を文化」にするしかない。日常生活、地域や学校行事で当たり前前に防災に取り組む。そんな町が、本当の「安心して暮らせる町」なのかもしれない。誰かではなく自分が、そしてみんなで、最初の一步を踏み出そう。 政

有料広告

アガリクスへの期待が高まっています!
「負けないカラダをつくりたい」そんなあなたの自力強化を強力にサポートします。

協和のアガリクス 顆粒 S-S-G+35 2,000mg×30袋 (スティックタイプ) 21,000円(税込)

協和のアガリクス 顆粒 S-S-G+300M 50mix×15袋 (レトルトタイプ) 27,300円(税込)

くすりの中谷 宇出津新町ポスト前 TEL.62-0057

有料広告

ニンニク爆発 パワー

揚げニンニク ニンニク油 サービス中

興能信用金庫 内浦庁舎

浜っ子らーめん助松 能登町松波10-59 ☎0768(72)0911

有料広告

ろうきんフリーローン 『く・ら・ら』

暮らしに関わる様々な費用にご利用できる便利なローンです!

今なら【特別金利キャンペーン】実施中!
2011年8月1日～2011年12月31日

詳しくは北陸ろうきん 珠洲支店 0768-82-6111

有料広告

スピード給付の 県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は 石川県民共済生活協同組合
☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページ http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/ 携帯電話からはこちらへ▶http://kyo-sai.jp/

立立 見見

1_綱引きを制したのは松波。ほかにも議員さんの関所を制して0.25秒差という僅差で総合優勝となった。2_最初の競技となった紅白玉入れは岩井戸が1位を獲得。3_トンネルの向こうは日本海。上町が圧倒的な強さを見せた。4_バケツでボールを運ぶバケツリレーは接戦。三波・上町・不動寺が同順位で点数を分けた。5_運動会の花形である対抗リレーは小木が逆転勝利。



笑顔が紡ぐ

能登町民大運動会 2011.10.10

地域の絆

能登町民大運動会は10月10日、柳田植物公園で開催されました。15地区から17チーム約3,000人が参加。対抗競技やオープン参加競技などで熱戦を繰り広げました。記念すべき初優勝は松波、2位が上町、3位が小木という結果でした。



楽



6_ユニークな応援と統一されたユニホームで大会を盛り上げた白丸には特別賞が贈られた。7_紫で統一された柳田の応援も華やかだった。

